FUJIFILM

FinePix Printer IP-10

取扱説明書

DPOF PictBridge Image Intelligence™

xD-Picture Card Designed for Microsoft® Windows® XP Works with Windows Vista™

このたびはFinePix Printer IP-10をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」と共にこのCD-ROMおよび「証明写真作成ガイド」を大切に保管し、必要なときにお読みください。
「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

目 次

はじめに

印刷する前に

証明写真をプリント

デジタルカメラからプリント

パソコンからプリント

FinePixViewerについて

付録

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

◆ 図記号の意味

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

その表示と意味は次のようになっています。

	してはいけない禁止事項です。		分解しないでください。
	必ず実行していただく強制事項です。		水等でぬらさないでください。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。		ぬれた手で触らないでください。
	指のケガに注意		手はさみ注意

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

警告

外装ケースを外したり、分解、改造をしない

火災や感電の原因となります。

落としたり、外装ケースを破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。

煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

異物を入れない（特にお子様にご注意を）

内部に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源コードには触れない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

- 引っ張らない
- 束ねない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 重いものをのせない

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

ACアダプターや電源コードは本機に付属のもの以外使用しない

火災や感電の原因となります。

本機に付属のACアダプターや電源コードは他の機器には使用しない

火災や感電の原因となります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。

雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。

たこ足配線をしない

火災の原因となります。

⚠ 注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 締め切った自動車内など、高温になる場所
- 湯煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。

本機の上に重いものを載せない

上に乗らない（特にお子様にご注意）

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

通電状態で放置すると、ショートや火災の原因となる場合があります。

接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたりコンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となります。

本機の通気孔をふさがない

指定された内部以外には手を入れない

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない・テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

印刷中はペーパートレイを抜かない

印刷中は用紙が前後に移動します。手を触れるとけがの原因となることがあります。

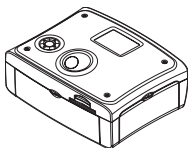
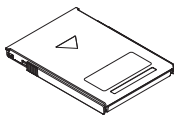
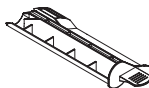
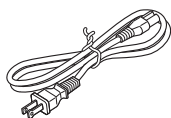
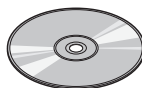
火気の近くで使わない

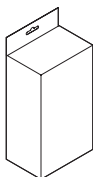
火災の原因となる場合があります。

はじめに

● プリンターをお使いになる前に、この取扱説明書の 5 ページ「安全上のご注意」をお読みください。
● この取扱説明書の88ページにプリンタードライバ（付属）のソフトウェア製品使用許諾契約書が記載されています。

同梱品について

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

プリンター本体　ペーパートレイ　クリーナー　ACアダプター(AC-24V)

電源コード　USB延長ケーブル　CD-ROM
・プリンタードライバ
・アプリケーション
・取扱説明書
証明写真作成ガイド

対応消耗品（別売）について

FinePix Printer専用インクカートリッジ・ペーパーセットプロ
　100×150 mm　120枚　F-RP120P

ご注意

- この取扱説明書に記載されている「カメラ」とは赤外線通信やPictBridgeに対応したデジタルカメラなどのことです。
- この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- この取扱説明書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品の不適当な使用により生じた損害や逸失利益については、当社では一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 画面に表示される画像と実際にプリントされる画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
- 液晶画面を強く押さないでください。液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面は有効画素 99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、これらの点は印刷されません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

著作権について

- 本製品で印刷したものは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windowsロゴ、Windows VistaおよびWindows Vistaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

＊ Windows® XPロゴはプリンター本体とそのドライバーにのみ適用されます。

- Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple computer, Inc.の商標です。
- xD-Picture Card やxD-Picture Card™は富士フイルム（株）の商標です。
- IrSimple™、IrSimpleShot™はInfrared Data Association®の商標です。
- Image Intelligence™ や Image Intelligence™は富士フイルム（株）の商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe Readerはアドビ製品の無償バージョンです。
- その他、社名や団体名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。なお、本文では、™や®マークは明記していない場合があります。

その他

：注意する項目や操作時のお願いなどが記載されています。

：補足項目やヒントなどが記載されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

IrSimple™ついて

■ IrSimple™とは

赤外線技術の標準化団体であるIrDA®（Infrared Data Association®）により、2005年8月に国際標準規格として規格化された、高速データ転送を可能にする高速赤外線通信プロトコルです。物理的インターフェース（SIR／FIR）は既存のIrDAと同一で、以下の2種類の通信方式があります。

- 片方向通信（Uni-Directional）
  送信機（1次局）側からのみ片方向でデータを送信する通信方式です。通信中の不具合は訂正できません。
- 双方向通信（Bi-Directional）
  送信機（1次局）側から送信されるデータに対して、受信機（2次局）側がその受信結果の返答や再送要求などを行う双方向の通信方式です。通信中の不具合を訂正できます。

■ IrSimpleShot™とは

IrSimple片方向通信（Uni-Directional）に適用される呼称です。

■ 本機のIrSimple™対応

本機は、IrSimpleShot通信および双方向通信（Bi-Directional）の両通信方式に対応しています。

■ 本機のIrSimple™での制限事項

- 受信機（2次局）としてのみ動作します。
- 高速赤外線通信機能（FIR）を搭載している送信機からのFIRでのIrSimpleShot通信では、ファイルサイズが2.5MB以上の大きいファイルを送信した場合、プリントできない場合があります。

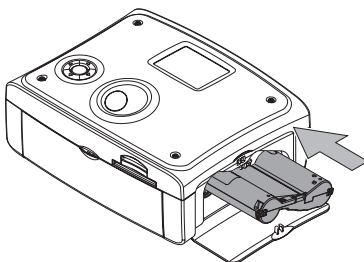
■ IrSimple™の通信速度

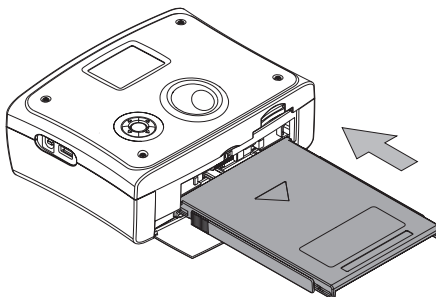
- 45ページの「画像サイズと通信時間の目安」をご覧ください。

プリンター操作の流れ

以下の手順でプリントします。実際の操作については、記載のページをご覧ください。

インクカートリッジを入れる →p. 18

▼

用紙を入れる →p. 20

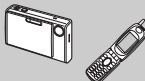
▼ ▼ ▼ ▼ ▼

証明写真をプリント

カメラや携帯電話からワイヤレスプリント

カメラとUSB接続してプリント

メモリーカードからデジカメプリント

パソコンからプリント

証明写真をプリント	
IDプリント	本機の電源を入れる →p. 21 ▼ メモリーカードをスロットに差し込む →p. 26 ▼ 「IDプリント」で、お好みのサイズ/レイアウト、プリントする画像を選択し、プリント →p. 26
ダイレクトIDプリント	本機の電源を入れる →p. 21 ▼ xD-Picture Cardをスロットに差し込む →p. 33 ▼ 「ダイレクトID」を選択 →p. 33 ▼ カメラとプリンターの接続 →p. 46 ▼ カメラで撮影 →p. 33 ▼ お好みのサイズ/レイアウト、プリントする画像を選択し、プリント →p. 33
デジタルカメラからプリント	
	本機の電源を入れる →p. 21 ▼ 「デジカメプリントメニュー」を選択 →p. 42 ▼
カメラや携帯電話からワイヤレスプリント	カメラまたは携帯電話でプリントする画像を選択 →p. 43 ▼ 赤外線通信でワイヤレスプリント →p. 43
カメラとUSB接続してプリント	カメラとプリンターの接続 →p. 46 ▼ カメラ側からプリント →p. 47
メモリーカードからデジカメプリント	メモリーカードをスロットに差し込む →p. 48 ▼ 本機で、プリントする画像を選択し、プリント →p. 49
パソコンからプリント	
	プリンタードライバのインストール →p. 63 ▼ 本機の電源を入れる →p. 21 ▼ 「デジカメプリントメニュー」を選択 →p. 42 ▼ パソコンとプリンターの接続 →p. 68 ▼ パソコンからプリント →p. 69

使用上のお願い

置き場所

- **ほこりや湿気の多い場所には置かないでください。**
  プリンター内にゴミが入らないように、きれいな環境でお使いください。
- **プリンターは前・後面20cm以上空けてください。**
  プリント中に一時排紙口から用紙が出入りしますので、ケーブル類が排紙口にからまないように、プリンターの後面は十分に空けてください。
- **強い磁気・電磁波の出ている機器から離して設置してください。**
  テレビや携帯電話、スピーカーなどから出る磁気・電磁波によりプリント画像が乱れることがあります。
- **タテ置きでは使用しないでください。**

プリンターのお手入れ・取り扱い

- **使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。**
  半年に一度ぐらいは電源をいれ、プリンターを操作させることをおすすめします。
- **長期間使用しないときは、インクカートリッジとペーパートレイをプリンターから取り外してください。**
  ほこりや湿気により、用紙が傷みます。ペーパートレイから用紙を取り出し、元の袋に入れ、水平にして保管してください。
- **殺虫剤や揮発性の溶剤などをかけないようにしてください。また、ビニールやゴムを長期間接触させないでください。**
  外装ケースが変形する場合があります。
- **外装ケースが汚れたときは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で拭き取ってください。**
  ベンジンやシンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装ケースが変形したり塗装がはげることがあります。
- **持ち運ぶときは、ペーパートレイとインクカートリッジを取り出し、ドアを閉め、ご購入時の個装箱に入れるか、柔らかい布などで包んでください。**

プリント中のお願い

- **プリント中に、インクカートリッジやペーパートレイを無理に引き出したり、振動させないでください。**
  故障の原因になります。
- **プリント後の用紙は、用紙受け部（ペーパートレイの上）にためたままにせず、こまめに取り除いてください。**
- **プリント中の用紙には触れないでください。**
  故障の原因になります。

- **周囲の温度やプリンター内部の温度によって、プリントが一時的に停止することがありますが、故障ではありません。**
  以下の場合はプリントが一時停止となります。温度が下がるとプリントは再開されます。
  ①連続して大量にプリントするとき
  ②周囲の温度が高いとき
  ③通気孔がふさがれていたり、通気が十分でないとき

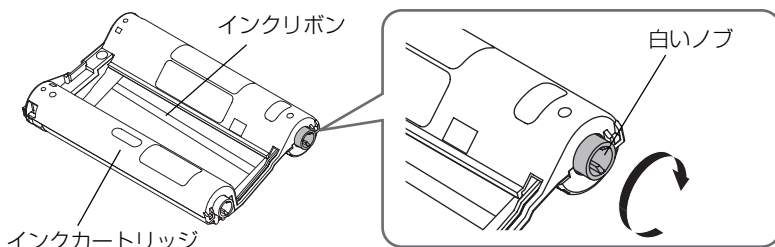
用紙・ペーパートレイについて

- **指定の用紙を使用してください。**
- **用紙をペーパートレイに入れる前に、保護シートを取り除いてください。**
- **用紙はプリント面（光沢面）が上から見えるようにしてペーパートレイに入れてください。**
  用紙の端をきれいにそろえてから入れてください。また用紙がペーパートレイからはみ出していないか、確認してください。
- **プリント面に触れないようにしてください。**
  プリント面に指紋や傷、ゴミ、油などがつくときれいにプリントできない場合があります。
- **プリント前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離したりしないでください。**
  プリントできなくなります。
- **用紙を折ったり曲げたりしないでください。**
- **ペーパートレイに入れられるのは、20枚までです。**
  紙詰まりの原因になります。
- **プリント前に文字などを書かないでください。**
  誤作動の原因となります。
- **同じ用紙に2度プリントしないでください。**
  故障の原因となります。

プリントした用紙について

- **一度使用した用紙は絶対に使用しないでください。**
  プリンターにダメージを与える可能性があります。
- **プリント面に粘着テープやゴム製品、ビニールなどを触れさせないでください。また他のものに密着させたまま放置しないでください。**
  変色や色落ち、色移りの原因となります。
- **アルバムに入れる場合は、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを使用してください。**
  それ以外のアルバムでは色落ちや変色する場合があります。
- **直射日光が当たる場所、高温（40度以上）の場所、湿気やほこりの多い場所で保管しないでください。**
  画質が劣化する場合があります。
- **上記の点に留意して保存した場合でも、変色したり、画質が劣化する場合があります。**

インクカートリッジについて

- **指定のインクカートリッジを使用してください。**
- **インクリボンに触れたり、引き出したりしないでください。**
  記載されている枚数分印刷できない場合があります。
- **インクカートリッジを入れる前に、白いノブを指で押しながら、矢印方向に回し、インクリボンのたるみを取ってください。**

- **インクカートリッジは方向を合わせ、「カチッ」と音がするまで入れてください。**
- **使用済みインクカートリッジは再使用できません。**

結露（つゆつき）について

- **プリンターに結露が発生したときは、使用せず、水滴が消えるまで、常温でしばらく放置しておいてください。**
  暖かい部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを結露（またはつゆつき）と呼びます。プリンターやインクカートリッジ、ペーパートレイ、用紙を寒い場所から暖かい場所に移すときに結露が発生することがあります。
- **インクカートリッジやペーパートレイ、用紙に結露が発生したときは、水滴を拭き取り、周囲の温度になじませてから使用してください。**
- **プリンター（インクカートリッジ、ペーパートレイ、用紙含む）を寒い場所から暖かい場所に移すときは、結露が発生しないように、ビニール袋に入れて密閉し、周囲の温度になじませてから使用してください。**

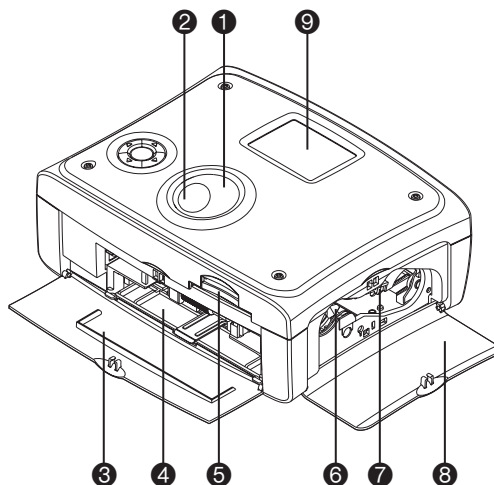
プリントできる用紙/インクカートリッジについて

用紙/インクカートリッジは以下のものをお使いください。

FinePix Printer専用インクカートリッジ・ペーパーセットプロ
・100×150 mm　120枚　F-RP120P

- インクカートリッジは分解しないでください。
- 用紙・インクカートリッジはお使いになるまで開封しないでください。
- 一度使用した用紙は絶対に使用しないでください。プリンターにダメージを与える可能性があります。

各部のなまえ

◆ 本機前面

❶ 電源ボタン

プリンターの電源を入／切します。電源を入れると電源ボタンの周りが点灯し、点灯パターンと色によってプリンターの状態が確認出来ます。

赤点灯→青点灯：起動中
青点灯： プリント可能な状態です。
青点滅： 本機が以下の状態です。
- プリント中
- プリントデータの受信中
- メモリーカードにアクセス中

赤点灯： 本機が以下の状態です。
- 起動中
- プリントできないなどのエラーが起こっています。→p. 80

赤点滅： プリントできないなどのエラーが起こっています。→p. 80
青赤交互点滅：
プリントできないなどのエラーが起こっています。→p. 80

❷ 赤外線ポート

赤外線を受信します。

❸ ペーパートレイドア

ペーパートレイを入れるときに、開けます。本機を使用しないときは、閉めておきます。

❹ ペーパートレイ挿入口

ペーパートレイを入れます。

❺ カードスロット

メモリーカードを差し込みます。

❻ インクカートリッジ挿入口

インクカートリッジを入れます。

❼ インクカートリッジ取り出しレバー

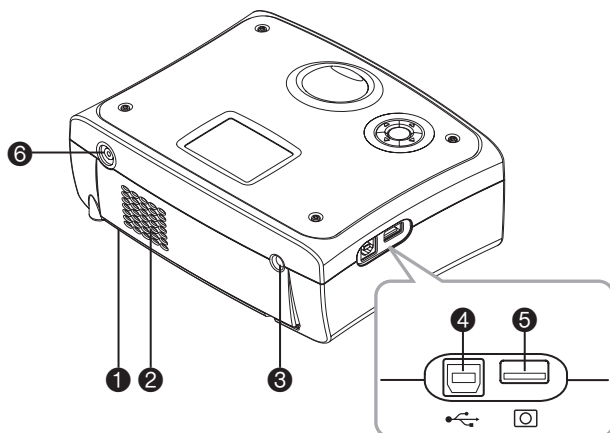
上に押して、インクカートリッジを取り出します。

❽ インクカートリッジドア

インクカートリッジを出し入れするときに開けます。プリントするときは閉めておきます。

❾ 液晶モニター

メニュー画面や画像の一覧が表示されます。

◆ 本機後面

❶ 一時排紙口

プリント中に用紙が一時排出されます。排出された用紙に触れないでください。

❷ 通気孔

プリンター内部が高温になるのを防ぎます。

❸ DC入力端子

ACアダプターのプラグを接続します。

❹ USB端子

USB ケーブル（市販品）でパソコンと接続するための端子です。

❺ ダイレクトID/PictBridge用端子

USB ケーブル（カメラ用）でダイレクトID/PictBridge対応のカメラと接続するための端子です。

❻ テレビ出力端子

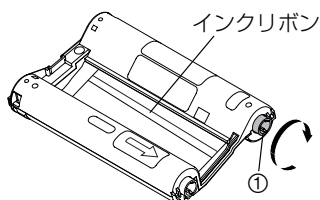
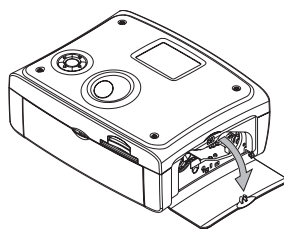
ビデオケーブルでテレビに映像を出力するための端子です。

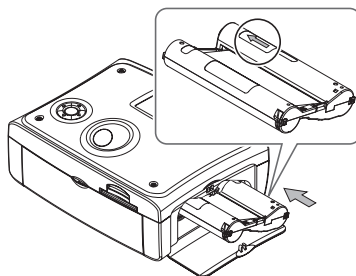
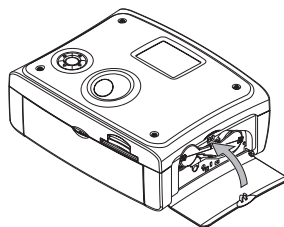
印刷する前に

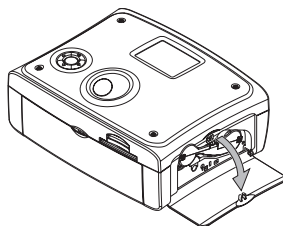
専用のインクカートリッジ、用紙をお使いください。

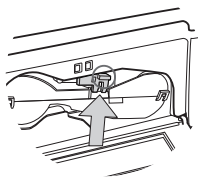
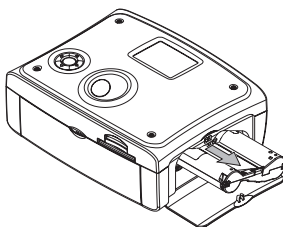
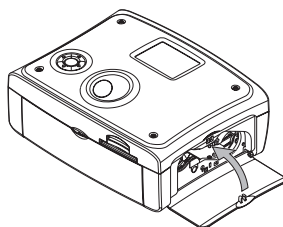
インクカートリッジを入れる

1 インクリボンにたるみがないか確認する

- たるみがある場合は、インクリボンが真っすぐに張るまで、① を押しながら矢印の方向へ軽く回してください。(① を回しすぎると、枚数分印刷できなくなります。)

2 インクカートリッジドアを開ける

3 インクカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込む

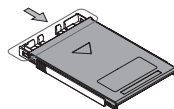
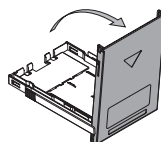
- インクカートリッジの矢印の刻印を上向きにして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで挿入してください。

4 インクカートリッジドアを閉める

インクカートリッジを取り出すときは

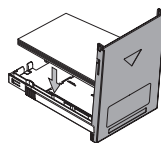
1 インクカートリッジドアを開ける

2 取り出しレバーを上にあげる

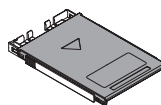
● インクカートリッジが手前にでます。

3 インクカートリッジをまっすぐ引き抜く

4 インクカートリッジドアを閉じる

● 使用済みのインクカートリッジは、絶対に再利用しないでください。誤作動や故障の原因となります。
● インクカートリッジのインクリボンを触ったり、引き出したりしないでください。
● インクが切れてしまったときは、新しいものに交換してください。

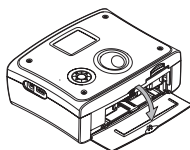
用紙をペーパートレイに入れる

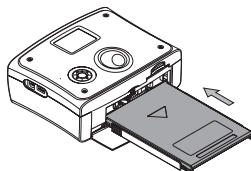
- 指定の用紙以外は、使用しないでください。
- 用紙をペーパートレイに入れる前に、保護シートを取り除いてください。

1 ペーパートレイの上ぶたを矢印方向へスライドする

2 上ぶたを開ける

3 用紙はプリント面（光沢面）を上にし、入れる

- ペーパートレイに入れられるのは20枚までです。
- ペーパートレイからはみださないように入れます。
- プリント面に触れないようにしてください。→p. 14
- プリント前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離したりしないでください。→p. 14

4 上ぶたを閉じる

- 用紙を保管する場合は、上ぶたをスライドしてください。そのままにするとほこりなどが入りプリント面に残ります。
- 印刷する場合は、そのままプリンターにセットしてください。

ペーパートレイを本機に取り付ける

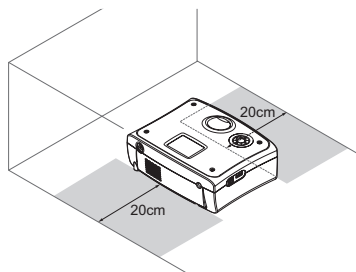
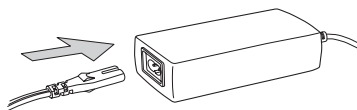
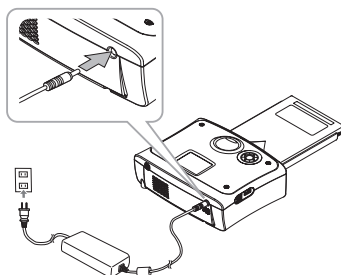
1 ペーパートレイドアを開ける

2 ペーパートレイ挿入口の奥まで、まっすぐ押し込む

- 左右を持って、しっかり奥に突き当たるまで挿入してください。

◆ **ペーパートレイを取り外すときは**

ペーパートレイをまっすぐ抜き、ペーパートレイドアを閉じます。

電源を入れる（接続する）

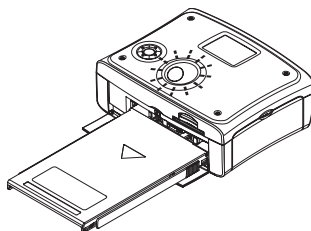
1 プリンターを水平な場所に置く

● プリンターの前・後面 20cm 以内には、物を置かないでください。プリント中に、前・後面から用紙が出たり入ったりします。

2 AC アダプターと電源コードを接続する

3 プリンターのDC入力端子にACアダプターを接続する

4 電源コンセントに電源プラグを差し込む

5 起動中

● 電源が入り、電源ボタンの周りが赤色から青色に変わる（約 17 秒）までお待ちください。

◆ LCDパワーセーブモード

30分間、操作または印刷がなかった場合には、LCDを自動的に消灯します。同時に電源ボタンの周りが青点滅します。また、本機をテレビに接続している場合、映像出力は停止します。このときテレビ画面は、青もしくは黒画面などになります。（テレビの仕様により異なります。）復帰させる場合は任意のキー操作、または各接続の抜き差しで行います。

◆ 電源を切るときは

電源入の状態で電源ボタンを長押しすると、ボタンの周りが消灯し、電源が切れます。（もう一度電源ボタンを押すと、電源が入ります。）

証明写真をプリント

1つの画像をお好みのサイズ/レイアウトでプリントできます。

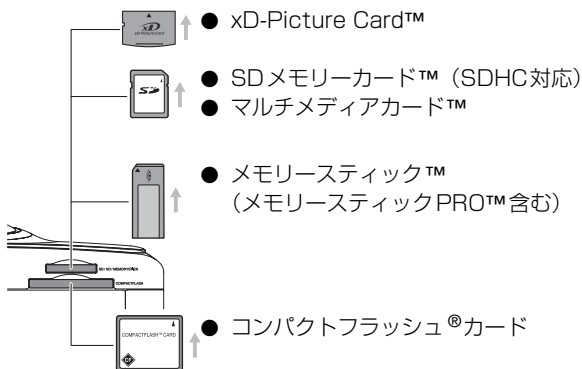
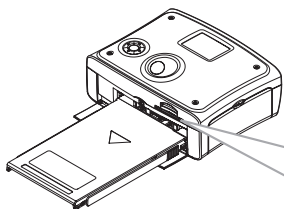
プリントについてのお知らせ

■ **プリントの例外**

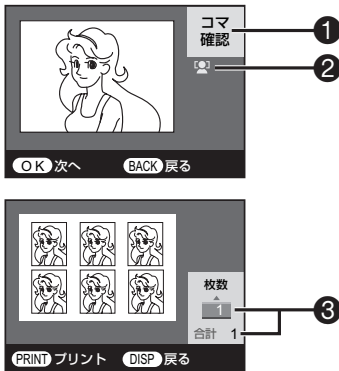
画像縦横比1:3以上の場合は、プリントすることができません。

※画像縦横比10:1以上の場合は、表示することができません。

- 印刷される画像の品位は、プリンターで自動的に設定されます。フレームサイズに合わせて、撮影した画像を拡大・縮小するため、画像サイズとフレームサイズの組み合わせによっては、上下左右が切り取られて印刷されることがあります。

使用できるメモリーカードについて

- ダイレクトIDプリントのときは、必ずxD-Picture Cardを使用してください。

画面表示と操作ボタンについて

◆ 画面表示

❶ 実行モード

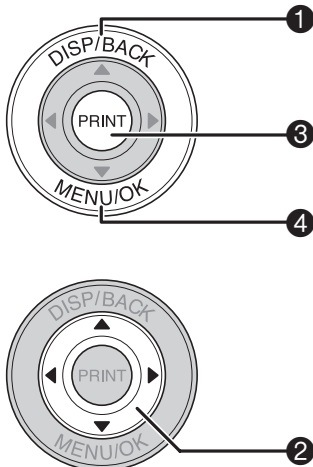
実行中の動作を表示します。

❷ 顔アイコン

富士フイルム製カメラの「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影された画像のみ表示します。
人物の顔が入っていない画像等は、顔アイコンが出ない場合があります。

❸ プリント枚数

プリント枚数を表示します。

◆ 操作ボタン

❶ [DISP/BACK] ボタン

表示を切り替えたり、前の画面に戻ったりします。

❷ [▲ ▼ ◀ ▶] ボタン

画像の位置を調整したり、項目を選択したりします。

❸ [PRINT] ボタン

プリントを開始します。

❹ [MENU/OK] ボタン

メニュー画面に戻ったり、項目を決定します。

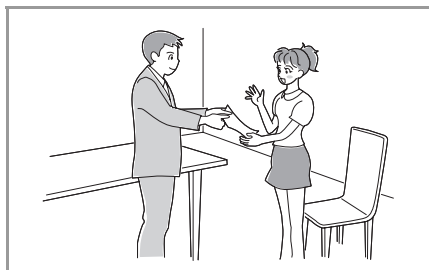
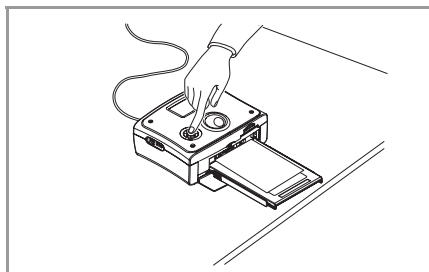
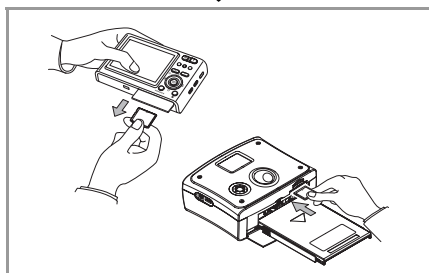
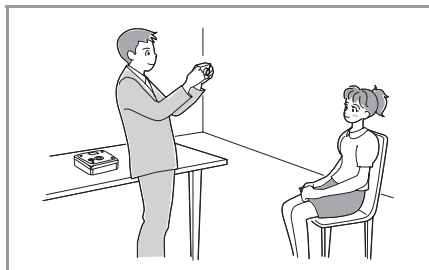
プリント操作の流れ

以下の手順でプリントします。詳しくは、記載のページをご覧ください。

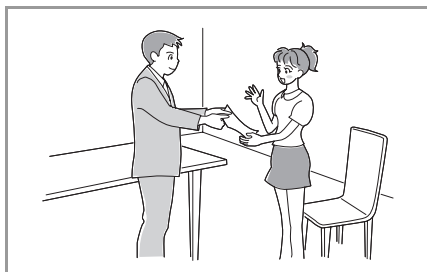
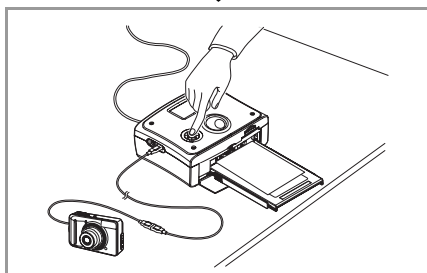
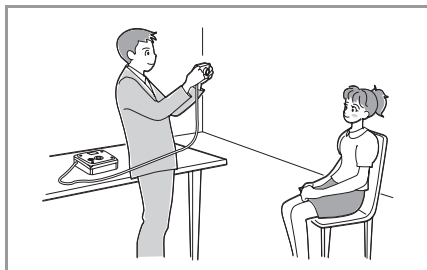
メモリーカードから証明写真をプリント（IDプリント）→p. 26

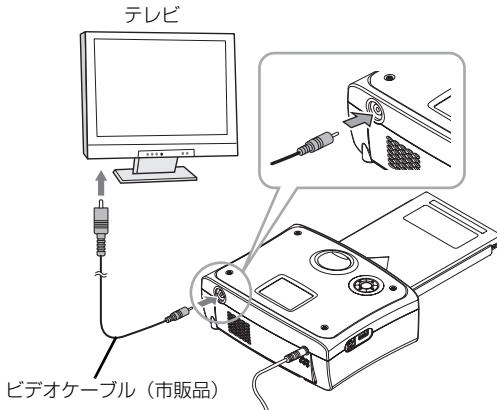
▼

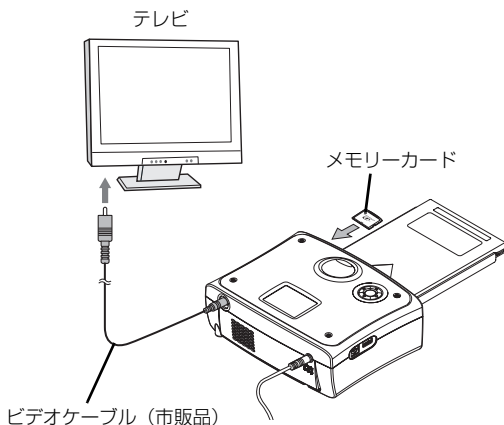
▼

▼

カメラと接続したまま証明写真をプリント（ダイレクトID）→p. 32

▼

▼

テレビ画面で画像を確認する

本機をテレビに接続すると、テレビ画面で画像を確認することができます。

● 画像が映らない場合は、NTSC/PALの設定をしてください。→p. 39

メモリーカードから証明写真をプリント（IDプリント）

- 同時に複数のカードを差し込まないようにしてください。
- 電源ボタンが点滅しているときは、メモリーカードを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。

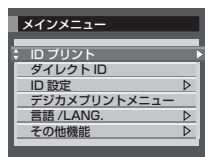
- 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 18～20

1 本機の電源を入れる

→p. 21

2 メモリーカードをカードスロットに入れる

- 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
  カードが正しくセットされると電源ボタンの周りが青点灯します。
- メモリーカードはカードスロットから少しはみ出している状態となります。

3 [▲ ▼] で「IDプリント」を選択し、[▶] を押す

4 [▲ ▼] でお好みのサイズ / レイアウトを選択し、[▶] を押す

- サイズ / レイアウトの仕様はお好みに合わせて設定することができます。→p. 35

5 [◀ ▶] でプリントする画像を選択し、[PRINT] を押す

- **[MENU/OK]** を押すと、画像の確認や顔の位置の微調整、特殊補正/加工をすることができます。
  →p. 28〜31

6 [▲ ▼] でプリント枚数を指定する

7 [PRINT] を押す

8 プリントが始まります

- 用紙が 4 回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

プリントする画像を確認する

本機ではプリントする画像を拡大したりして、確認することができます。

27ページの手順4のあと

5 [◄ ►] で確認したい画像を選択し、[MENU/OK] を押す

6 [MENU/OK] を押す

◆ 顔キレイナビ（顔検出機能）で撮影した画像について

弊社製カメラで「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影した画像（画面に が表示されます）は、プリントする前に表情確認ができます。

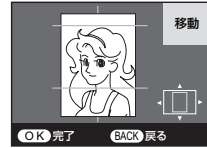
① **[MENU/OK]** を押す
② 顔付近が拡大表示された表情確認画面が表示されます
③ 確認後、**[MENU/OK]** を押す
- 手順7に進みます。前の画面に戻るには、**[DISP/BACK]** を押してください。

7 [▲ ▼] で大きさを調整する

範囲を大きくする： **[▲]** を押す
範囲を小さくする： **[▼]** を押す

8 [MENU/OK] を押す

[▲ ▼ ◄ ►] で位置を調整する

- **[DISP/BACK]** を押すと、再び拡大することができます。

[MENU/OK] を押す

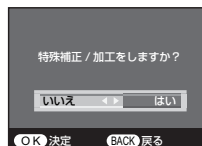
- 「プリントする画像を特殊補正または加工する」に進みます。→p. 30

プリントする画像を特殊補正または加工する

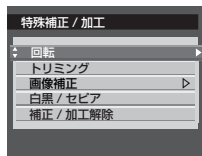
本機ではプリントする画像ごとに特殊補正や加工をすることができます。

29ページ手順10のあと

11 [◀ ▶]で「はい」を選択し、[MENU/OK]を押す

- 「いいえ」を選択すると、27ページ手順6に進みます。

12 [▲ ▼]で特殊補正/加工メニューを選択し、[▶]を押す

特殊補正/加工メニューについて（→下記）

- 設定が終わると、27ページ手順6に進みます。

特殊補正/加工メニューについて

■ 回転

画像をお好みの向きに回転することができます。
上記手順12のあと

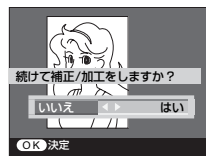
❶ [◀ ▶] でお好みの向きに画像を回転する

左回転： [◀] を押す
右回転： [▶] を押す

- トリミングされた画像を回転する場合は、トリミングを解除してください。

❷ [MENU/OK] を押す

❸ [◀ ▶] で「いいえ」を選択し、[MENU/OK] を押す

- 「はい」を選択すると、続けて特殊補正/加工することができます。

■ トリミング

プリントする範囲を変更し、画像を拡大することができます。
上記手順12のあと

❶ [▲ ▼] でプリントする範囲の大きさを調整する

範囲を大きくする： [▲] を押す
範囲を小さくする： [▼] を押す

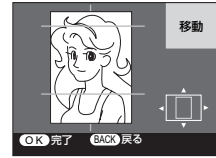
❷ [MENU/OK] を押す

❸ **[▲ ▼ ◀ ▶]** でプリントする範囲の位置を調整する

- **[DISP/BACK]** を押すと、再び拡大することができます。

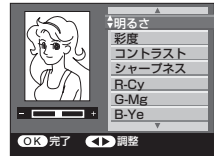
❹ **[MENU/OK]** を押す

❺ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

- 「はい」を選択すると、続けて特殊補正/加工することができます。

■ 画像補正

画像をお好みの明るさや鮮やかさに色合いを補正することができます。
30ページ手順12のあと

❶ **[▲ ▼]** で補正したい内容を選び、**[◀ ▶]** で調整する

明るさ： 画像の明るさを調整します。
彩度： 色の鮮やかさを補正します。
コントラスト： 強いと画像全体としてはくっきりとした印象になり、逆に弱いと、中間調が増え、深みのない画像になります。
シャープネス： 画像の境界をシャープにすることができます。
R-Cy（赤-シアン）、G-Mg（緑-マゼンダ）、B-Ye（青-イエロー）： 各色の色合いを調整します。

❷ **[MENU/OK]** を押す

❸ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

- 「はい」を選択すると、続けて特殊補正/加工することができます。

■ 白黒/セピア

画像を白黒やセピア色（茶色がかった色調）に変換することができます。
30ページ手順12のあと

❶ **[▶]** で「白黒」または「セピア」を選択する

- **[▶]** を押すたびに、画面が「白黒」、「セピア」、「元画像」の順に切り替わります。

❷ **[MENU/OK]** を押す

❸ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

- 「はい」を選択すると、続けて特殊補正/加工することができます。

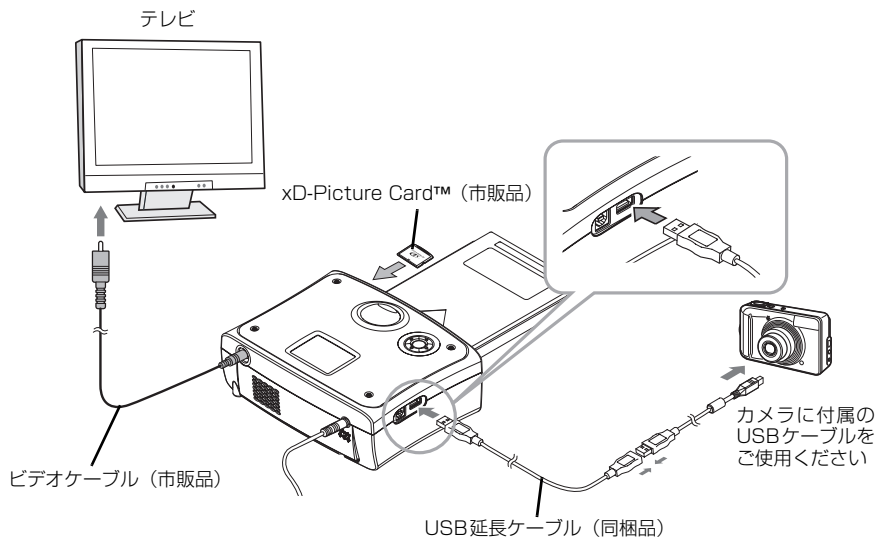
■ 補正/加工解除

設定した補正や加工を解除することができます。
30ページ手順12のあと

❶ **[MENU/OK]** を押す

- 設定した補正や加工がすべて解除されます。

カメラと接続したまま証明写真をプリント（ダイレクトID）

カメラと接続したままで「撮影」→「プリント」→「撮影」と手間なくくりかえすことができます。
● カード内に「IP10DirectID」のフォルダー名がある場合、そのフォルダー内のファイルは消えてしまいます。
● 動作保証カメラ：FinePix S5Pro、FinePix S8000fd、FinePix S5800、FinePix F50fd、FinePix F480、FinePix A920
※その他のFinePixについてはダイレクトID機能が使えない機種があります。
※FUJIFILM FinePix以外のカメラでは、この機能を使うことができません。

● 同時に複数のカードを差し込まないようにしてください。
● 電源ボタンが点滅しているときは、xD-Picture Cardを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。
● ダイレクトIDプリントのときは、必ずxD-Picture Cardを使用してください。
● xD-Picture Cardは市販のものを準備してください。

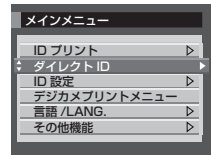
● 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 18～20

本機の電源を入れる

→p. 21

xD-Picture Card（市販品）をカードスロットに入れる

- 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
  カードが正しくセットされると電源ボタンの周りが青点灯します。
- xD-Picture Cardはカードスロットから少しはみ出している状態となります。

[▲ ▼]で「ダイレクトID」を選択し、[▶] を押す

本機とカメラを接続する

→p. 46

- プリンターとカメラを接続するときは、USB延長ケーブル（同梱品）とカメラに付属のUSBケーブルの合計の長さが5mを超えない状態で使用してください。（5mを超えるとプリンターはカメラを認識しません）
- FinePix S5Proをご使用の場合、カメラのUSB設定で「PC SHOOT」が選択されていると接続できません。「MTP(PTP)」に切り替えてください。

カメラで撮影を行い、[MENU/OK] を押す

- 撮影推奨サイズ（ピクセル）：2M
- 大きいサイズで撮影を行うと、手順7の画像取り込み時間が長くなります。

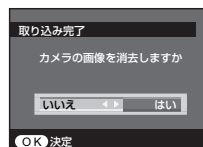
[▲ ▼] でお好みのサイズ/レイアウトを選択し、[▶] を押す

- 画像をxD-Picture Cardに取り込みます。
- サイズ / レイアウトの仕様はお好みに合わせて設定することができます。→p. 35

7 画像を取り込みます

- ダイレクトIDで、xD-Picture Card（市販品）に一度に取り込める容量は16Mまでです。
- 点滅中にカードと USB ケーブルを抜かないでください。また、カメラの電源を切らないでください。

8 [◄ ►] で「はい」を選択し、[MENU/OK] を押す

- 「いいえ」を選択すると、カメラの画像を消去しません。

9 [◄ ►] でプリントする画像を選択し、[PRINT] を押す

- **[MENU/OK]** を押すと、画像の確認や顔の位置の微調整、特殊補正/加工をすることができます。
  →p. 28～31

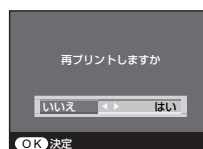
10 [▲ ▼] でプリント枚数を指定する

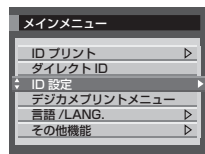
11 [PRINT] を押す

12 プリントが始まります

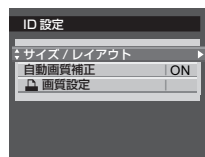
- 用紙が４回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

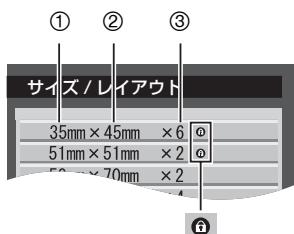
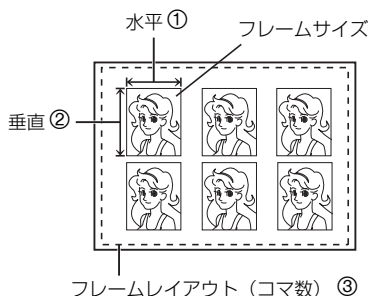
13 [◄ ►] で「いいえ」を選択し、[MENU/OK] を押す

- 手順5に戻り、続けて次の撮影を行うことができます。
- 「はい」を選択すると、手順9に戻り、再プリントすることができます。

証明写真の設定

IDプリントについて、あらかじめお好みの設定に変更しておくことができます。
ID設定は、電源を切っても保持されます。

[▲ ▼]で「ID設定」を選択し、[▶]を押す

[▲ ▼]でID設定メニューを選択し、[▶]を押す

ID設定メニューについて（→下記）

ID設定メニューについて

■ サイズ/レイアウト

サイズ/レイアウト初期設定値

①	②	③
35	45	6
51	51	2
50	70	2
60	45	4
126	85	1
50	38	4

インチ／ミリメートル変換表

inch	mm
1	25
1　1/4	32
1　1/2	38
1　3/4	44

inch	mm
2	51
2　1/4	57
2　1/2	64
2　3/4	70

inch	mm
3	76
3　1/4	83
3　1/2	89
3　3/4	95

※少数点以下は四捨五入しています。

（鍵マーク）：「35mmx45mm x6」および「51mmx51mm x2」は固定のため、サイズ・コマ数は変更できません。
「画像方向設定」「ガイドライン設定」については変更できます。

お好みのサイズ・コマ数・向きに設定することができます。
35ページ手順2のあと

❶ **[▲ ▼]** で設定したい項目を選択し、**[▶]** を押す

- 「35mmx45mm x6」および「51mmx51mm x2」は固定のため、サイズ・コマ数は変更できません。
  選択すると、手順❹に進みます。

❷ **[▲ ▼ ◀ ▶]** で縦横のサイズを選択し、**[MENU/OK]** を押す（フレームサイズ）

フレームサイズ設定範囲： 水平 20mm－126mm
垂直 20mm－94mm

- ただし縦横比が1:2以上には設定できません。

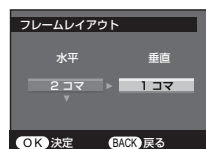
❸ **[▲ ▼ ◀ ▶]** で縦横のコマ数を選択し、**[MENU/OK]** を押す（フレームレイアウト）

- 1枚のプリントにレイアウト可能なコマ数までしか選択できません。

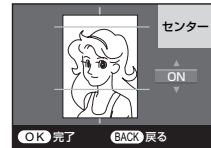
❹ 撮影の向きとカメラの向きを合わせるために **[◀ ▶]** で画像を回転し、**[MENU/OK]** を押す（画像方向設定）

左回転： **[◀]** を押す
右回転： **[▶]** を押す

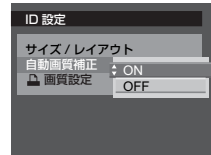
- フレームサイズを縦長にした場合は“頭が画面の上側”に、横長にした場合は“頭が画面の左側”にくるようにしてください。

❺ **[▲ ▼]** で「ON」を選択し、**[MENU/OK]** を押す（ガイドライン設定）

① **[▲ ▼]** でガイド1の位置を設定し、**[MENU/OK]** を押す

② 同様にガイド2の位置を設定し、**[MENU/OK]** を押す

③ **[▲ ▼]** で「ON」を選択し、センターラインを設定する

■ 自動画質補正

自動で画質補正をおこないます。
35ページ手順2のあと

❶ **[▲ ▼]** で「ON/OFF」を切り替え、**[MENU/OK]** を押す

■ 画質設定

画像をお好みの明るさや鮮やかさに色合いを設定することができます。
この設定は、全画像に反映されます。
35ページ手順2のあと

❶ **[▲ ▼]** で補正したい内容を選び、**[◀ ▶]** で調整する
- 設定項目の詳細は、「画像補正」と同じです。→p. 31

◆ 設定の初期化について

上記で変更したプリンター画質設定を初期化することができます。

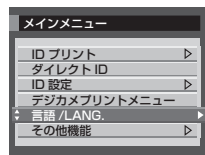
① **[▲ ▼]** で「初期化」を選び、**[▶]** を押す
② **[◀ ▶]** で「はい」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

- 「サイズ/レイアウト」、「画質設定」には画像の入ったメモリーカードが必要です。

その他の設定について

画面に表示される言語を変更することができます。また、ビデオ出力形式の変更や累計プリント枚数を確認することができます。

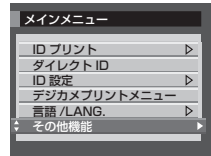
画面に表示される言語を設定する

[▲ ▼] で「言語 /LANG.」を選択し、[▶] を押す

[▲ ▼ ◀ ▶] で画面に表示される言語を選ぶ

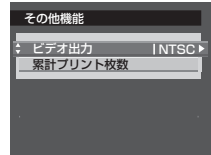
● ENGLISH ● FRANCAIS ● DEUTSCH
● ESPANOL ● 簡体中文 ● 日本語

[MENU/OK] を押す

その他の機能を設定する

[▲ ▼] で「その他機能」を選択し、[▶] を押す

[▲ ▼] で設定項目を選択し、[▶] を押す

設定項目について（→下記）

- 設定後、**[MENU/OK]** を押すと、手順 1 に戻ります。

設定項目について

■ ビデオ出力

ビデオの出力形式を設定します。

❶ **[▲ ▼]** で「NTSC/PAL」を切り替え、**[MENU/OK]** を押す

- お買い上げ時は「NTSC」に設定されています。

■ 累計プリント枚数

累計プリント枚数を確認することができます。

デジタルカメラからプリント

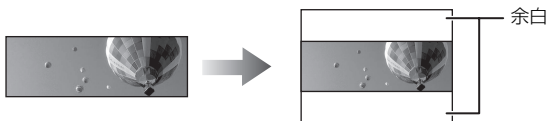
プリントについてのお知らせ

■ 自動回転

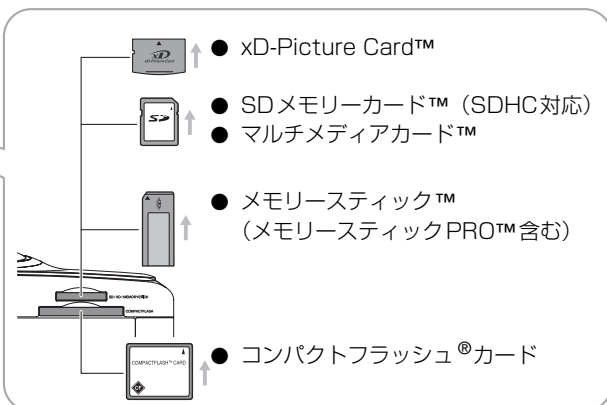
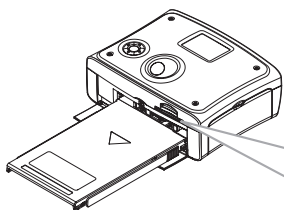
１面フチ無し/１面フチあり/２分割/４分割設定時、画像長辺側をプリント位置長辺側に合わせて回転します。
※16分割/インデックス設定時は回転しません。

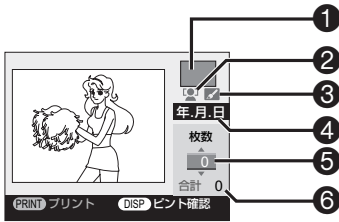
■ プリントの例外

画像縦横比1:3以下の場合は、余白が出ないように画像を切り取り、プリントします。

画像縦横比1:3以上の場合は、画像全体がプリントされるように余白が入ります。

※画像縦横比10:1以上の場合は、プリントおよび表示することができません。

- 印刷される画像の品位と印刷される向き（縦または横）は、プリンターで自動的に設定されます。用紙サイズに合わせて、撮影した画像を拡大・縮小するため、画像サイズと用紙サイズの組み合わせによっては、上下左右が切り取られて印刷されることがあります。

使用できるメモリーカードについて

画面表示と操作ボタンについて

◆ 画面表示

❶ **プリントモード**
白フチ設定や分割プリントなどの情報を表示します。

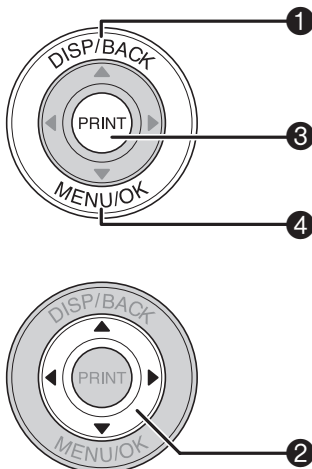
❷ **顔アイコン**
富士フイルム製カメラの「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影された画像のみ表示します。
人物の顔が入っていない画像等は、顔アイコンが出ない場合があります。

❸ **補正/加工情報**
回転やトリミングなどの補正/加工の情報を表示します。

❹ **日付表示**
日付プリント設定状況を表示します。

❺ **プリント枚数**
選択されている画像のプリント枚数を表示します。

❻ **プリントされる合計枚数**
プリントの合計枚数を表示します。

◆ 操作ボタン

❶ **[DISP/BACK] ボタン**
表示を切り替えたり、前の画面に戻ったりします。

❷ **[▲ ▼ ◀ ▶] ボタン**
項目を選択したり、プリント枚数を指定したりします。

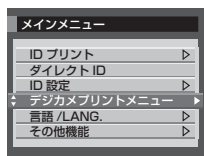
❸ **[PRINT] ボタン**
プリントを開始します。

❹ **[MENU/OK] ボタン**
メニュー画面に戻ったり、項目を決定します。

デジカメプリントメニューを選択する

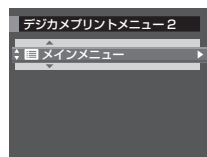
カメラからプリントするときは、はじめに以下の操作を行ってください。その後、それぞれの手順にしたがってプリントしてください。

電源を入れる →p. 21

2 [▲ ▼]で「デジカメプリントメニュー」を選択し、[▶]を押す

証明写真をプリントするときは

[MENU/OK]を押す

[▲ ▼]で「メインメニュー」を選択し、[▶]を押す

● 操作については、22ページの「証明写真をプリント」をご覧ください。

赤外線通信でワイヤレスプリント

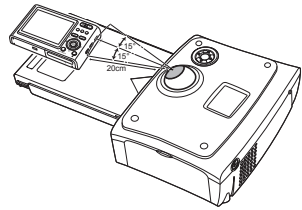
カメラや携帯電話からワイヤレスプリントする（赤外線通信）

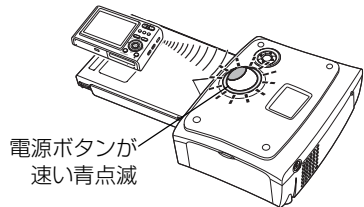
本機は赤外線通信（IrDA）に対応したカメラやカメラ付き携帯電話からケーブルを接続しなくても画像を受信し、プリントすることができます。

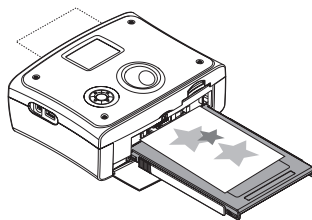
- 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 18～20
- 本機にカメラがUSB接続されていないことを確認してください。
- 「デジカメプリントメニュー」を選択しておきます。→p. 42

送信側でプリントする画像を選択する

赤外線ポートを合わせる

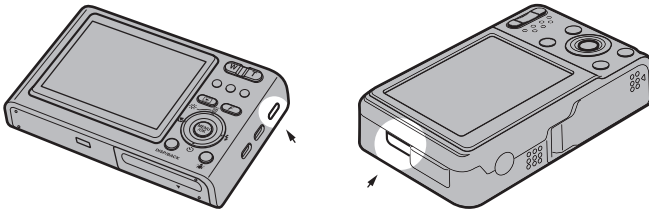
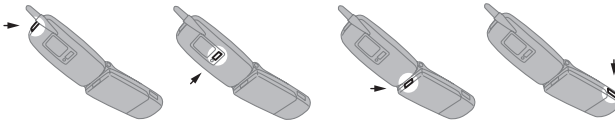
- 送信側の赤外線ポートをプリンターの Ir マークの正面に向けます。→p. 45
- 画像送受信範囲は、上下左右各15°で20cm以内です。

送信側から画像を赤外線で送る

- 画像の送信中は、カメラや携帯電話を動かさないでください。
- 画像の通信中は、電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。

プリントが始まります（遅い青点滅）

● 用紙が４回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

● 送信側の機器と本機の間には何も置かないでください。
● 直射日光の当たる場所や蛍光灯の直下では、正しく通信できない場合があります。
● テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くでは、正しく通信できない場合があります。
● 画像の通信が終わるまで、送信側の赤外線ポートを本機の赤外線ポートに向けたままにして動かさないでください。
● お使いの携帯電話の機種により、通信できない場合があります。
● 画像の大きさによっては、画像の一部が切り取られたり、余白が入ったりします。
また設定によって、用紙に合わせて画像が自動で回転します。→p. 40
● 複数枚送信された場合には、メモリーが一杯になるまで受信できます。
メモリーが一杯にならない場合でも、20枚が最大の受信枚数となります。

● 送信側（携帯電話やデジタルカメラ・パソコン・PDAなど）の赤外線ポート位置や画像送信方法については、送信側の機器の取扱説明書をご覧ください。

赤外線ポート位置例

◆ カメラ

◆ 携帯電話

画像サイズと通信時間の目安

本製品は、IrDAの高速通信（IrSimple/FIR）に対応しています。対応機器から送信すると通信速度が速くなり、通信時間が短くなります。

	高速赤外線（IrSimple/FIR）		赤外線（IrDA/SIR）
	片方向通信	双方向通信	
VGA（640×480）	1秒以下	1秒以下	約14秒
1M（1280×960）	約1.5秒	約1.6秒	約59秒
3M(2048×1536)	約2.5秒	約3.0秒	約1分49秒
5M(2592×1944)	約6.0秒	約6.7秒	約4分27秒

※ ファイルサイズが2.5MB以上の大きいファイルを送信した場合、プリントできない場合があります。

- 時間は目安であり、送信機（1次局）側の能力により変わります。
- 通信時間は、ファイルサイズや送信側の機種によっても異なります。
- ファイルサイズの大きな画像を送信した場合は、通信時間が長くなることがあります。

◆ おすすめの送信画像サイズ

データ通信時間と画質のバランスから、3M(2048×1536)程度での撮影をおすすめします。

- 送信側の機種によっては、3Mでの撮影や赤外線送信ができない場合があります。

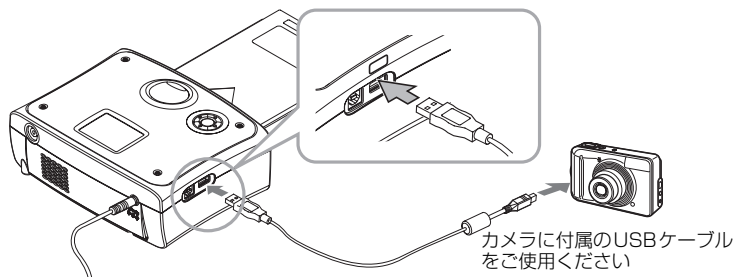
カメラとUSB接続してプリント

カメラとUSB接続してプリントする（PictBridge印刷）

本機にカメラを接続することでカメラからの操作で画像を直接プリントすることができます。
- 画像を直接プリントできるのは“PictBridge”対応のカメラです。
- 本機にパソコンが接続されていないことを確認してください。
- ご使用のカメラにより、接続する前に“PictBridge”でプリントするモードに切り替える必要があります。カメラの取扱説明書を参照のうえ、必要な操作を行ってください。

カメラと接続する

- 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 18～20
- 「デジカメプリントメニュー」を選択しておきます。→p. 42

本機とカメラを接続する

2 **カメラの電源を入れる**

- 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
- カメラ側からプリント操作ができるようになります。

- 詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- カメラによっては、USBケーブルで本機と接続すると自動的に電源が入ります。
- PictBridge対応のカメラでは接続時にピクトブリッジロゴ（PictBridge）が表示されたり、取扱説明書などにピクトブリッジロゴ（PictBridge）が表記されています。
- カメラと本機のケーブルを取り外すときは、カメラの取扱説明書にしたがってください。

- カメラと本機を接続する場合は本機の電源を入れてから接続してください。
本機の電源が切の状態でカメラを接続した場合、カメラが接続待機状態になります。
（カメラモニターに接続中の表示が出ます。表示は機種により異なります。）

カメラからプリントする

1 カメラ側からプリント操作を行う

- カメラの液晶モニターを見ながら操作します。
- 操作方法はカメラによって異なります。お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

2 プリントが始まります

- 用紙が４回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。
- プリント中は接続ケーブルを絶対に抜かないでください。

◆ プリント設定について

- お使いのカメラにより、設定できない項目があります。その場合、以下のようにプリントされます。（プリンターの初期設定）

❶ 用紙サイズ

本機にセットしている用紙のサイズにプリントされます。

❷ レイアウトの指定

［フチなし］でプリントされます。

❸ 日付

日付がプリントされません。（カメラの設定で「入」の場合はプリントされます。）

3 プリント終了後、カメラを外す

- プリント中にエラーが起こるとカメラのモニターにエラーメッセージが表示されます。→p. 81
- カメラによっては「標準の設定」、「プリンターの設定にしたがう」が選択できる場合があります。選択すると、プリンターの初期設定でプリントされます。
- カメラからプリントする場合、カメラの電源は、家庭用電源をお使いになることをお勧めします。
- 画像の大きさによっては、画像の一部が切り取られたり、余白が入ったりします。
  また設定によって、用紙に合わせて画像が自動で回転します。→p. 40

メモリーカードからデジカメプリント

カメラから取り出したメモリーカードをカードスロットに差し込むと、撮影した画像を本機の液晶モニターで見ながらプリントすることができます。

メモリーカードを入れる

- 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 18～20
- プリンターにカメラやパソコンが接続されていないことを確認してください。
- 「デジカメプリントメニュー」を選択しておきます。→p. 42

1 メモリーカードをカードスロットに入れる

- 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
  カードが正しくセットされると電源ボタンの周りが青点灯します。
- メモリーカードはカードスロットから少しはみ出している状態となります。
- 本機の液晶モニターに画像の一覧が表示されます。

- 同時に複数のカードを差し込まないようにしてください。
- 電源ボタンが点滅しているときは、メモリーカードを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。

画像を選んでプリントする

一覧表示から選んでプリントする

[◄ ►] でプリントする画像を選択する

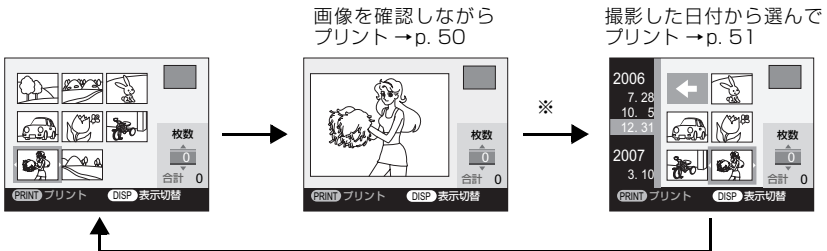
[▲ ▼] でプリント枚数を指定する

[PRINT] を押す

プリントが始まります

- 用紙が４回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

表示の切替方法について

上記手順１で **[DISP/BACK]** を押すたびに表示を切り替えることができます。

※「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影した画像の場合は、ピント確認画面が表示されます。

- １回にプリントできる枚数は、合計999枚までです。
- 画像の大きさによっては、画像の一部が切り取られたり、余白が入ったりします。
  また設定によって、用紙に合わせて画像が自動で回転します。→p. 40

拡大画像で確認しながらプリントする

[◄ ►] でプリントする画像を選択する

2 [▲ ▼] でプリント枚数を指定する

◆ 顔キレイナビ（顔検出機能）で撮影した画像について

弊社製カメラで「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影した画像（画面に が表示されます）は、プリントする前にピント確認ができます。

① **[DISP/BACK]** を押す
② 顔付近が拡大表示されたピント確認画面が表示されます
③ 確認後、**[MENU/OK]** を押す
- 前の画面に戻ります。

[PRINT] を押す

プリントが始まります

- 用紙が４回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

撮影した日付から選んでプリントする

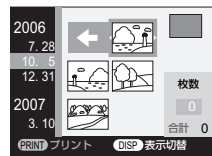
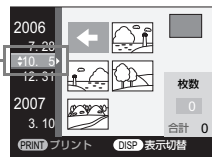
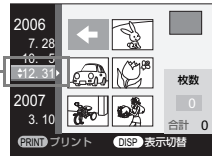
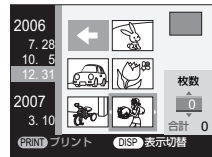
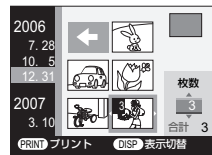
[◄ ►] でプリントする画像を選択する

◆ 他の日付の画像を表示・選択するには

① **[◄]** を複数回押して、現在表示されている日付を選択する

現在表示されている日付

② **[▲ ▼]** を押して、表示したい日付を選択する（濃い青色になります）

③ **[►]** を複数回押して、画像を選択する

2 [▲ ▼] でプリント枚数を指定する

[PRINT] を押す

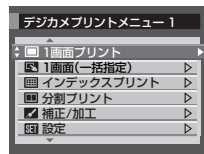
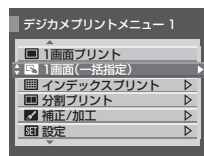
プリントが始まります

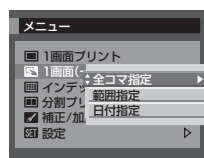
- 用紙が 4 回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

便利な機能を使ってプリントする

複数の画像を一括してプリントする

1 [MENU/OK]を押す

- メニュー画面が表示されます。
- 「1 画面プリント」を選択した場合の手順は、「画像を選んでプリントする」を参照してください。→p. 49

2 [▲ ▼]で「1 画面(一括指定)」を選択し、[▶]を押す

3 [▲ ▼]で指定方法を選択し、[▶]を押す

指定方法について →p. 53

4 プリント枚数を指定する

- 指定した画像はすべて「1 枚」に設定されています。

◆ プリント枚数を変更するときは

① **[◀ ▶]** で変更する画像を選択する

② **[▲ ▼]** でプリント枚数を指定する

- 「0枚」に指定すると、プリントされません。

5 [PRINT]を押す

6 プリントが始まります

- 用紙が 4 回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

指定方法について

■ 全コマ指定

メモリーカードに保存されている全ての画像をプリントします。

■ 範囲指定

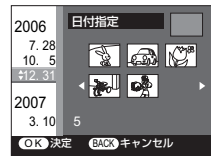
範囲を指定してプリントする画像を選択します。
52ページ手順3のあと

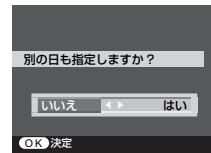
❶ **[▲ ▼ ◀ ▶]** で開始画像を選択し、**[MENU/OK]** を押す

❷ **[▲ ▼ ◀ ▶]** で終了画像を選択し、**[MENU/OK]** を押す

■ 日付指定

日付を指定してプリントする画像を選択します。
52ページ手順3のあと

❶ **[▲ ▼]** で日付を選択し、**[MENU/OK]** を押す

❷ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

● 「はい」を選択すると、複数の日付を指定することができます。

インデックスをプリントする

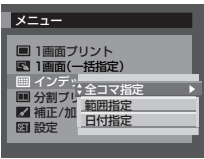
[MENU/OK] を押す

[▲ ▼] で「インデックスプリント」を選択し、[▶] を押す

[▲ ▼] で指定方法を選択し、[▶] を押す

全コマ指定　操作方法について →p. 53

範囲指定　操作方法について →p. 53

日付指定　操作方法について →p. 53

[▲ ▼] で日付の表示方法を選択する

[PRINT] を押す

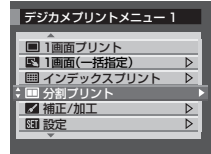
プリントが始まります

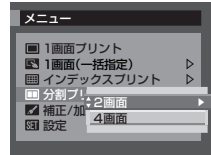
- 用紙が 4 回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

- インデックスプリントでは、サムネイル画像がプリントされます。

一枚の用紙に複数の画像をプリントする

[MENU/OK] を押す

[▲ ▼] で「分割プリント」を選択し、[▶] を押す

[▲ ▼] で「2画面」または「4画面」を選択し、[▶] を押す

2画面： 1枚の用紙に2つの画像をプリントします。
4画面： 1枚の用紙に4つの画像をプリントします。

[▲ ▼] で指定方法を選択し、[▶] を押す

コマごと指定→手順6へ　プリントする画像を1枚1枚選択する。
① **[◀ ▶]** でプリントする画像を選択する
② **[▲ ▼]** でプリント枚数を指定する
③ 手順 ①、② を繰り返し、プリントする画像を選択する

全コマ指定→手順5へ　操作方法について →p. 53
範囲指定→手順5へ　操作方法について →p. 53
日付指定→手順5へ　操作方法について →p. 53

プリント枚数を指定する

● 指定した画像はすべて「1枚」に設定されています。

◆ プリント枚数を変更するときは

① **[◀ ▶]** で変更する画像を選択する
② **[▲ ▼]** でプリント枚数を指定する
● 「0枚」に指定すると、プリントされません。

[PRINT] を押す

プリントが始まります

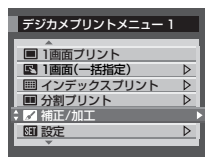
● 用紙が4回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

プリントする画像を補正または加工する

本機ではプリントする画像ごとに補正や加工をすることができます。

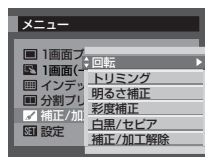
1 [◀ ▶] で補正または加工したい画像を選択する

2 [MENU/OK] を押す

3 [▲ ▼] で「補正/加工」を選択し、[▶] を押す

4 [▲ ▼] で補正/加工メニューを選択し、[▶] を押す

補正/加工メニューについて（→下記）

補正/加工メニューについて

■ 回転

画像をお好みの向きに回転することができます。
上記手順4のあと

❶ **[◀ ▶]** でお好みの向きに画像を回転する

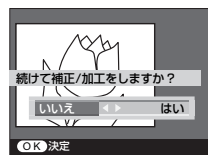
左回転： [◀] を押す

右回転： [▶] を押す

● トリミングされた画像を回転する場合は、トリミングを解除してください。

❷ **[MENU/OK]** を押す

❸ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

● 「はい」を選択すると、続けて補正/加工することができます。

■ トリミング

プリントする範囲を変更し、画像を拡大することができます。
「トリミング」と「回転」を同一画像で行う場合は、先に「回転」を行ってください。
56ページ手順4のあと

❶ **[▲ ▼]** でプリントする範囲の大きさを調整する

範囲を大きくする： [▲] を押す
範囲を小さくする： [▼] を押す

❷ **[DISP/BACK]** を押す

❸ **[▲ ▼ ◀ ▶]** でプリントする範囲の位置を調整する

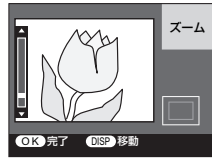
- **[DISP/BACK]** を押すたびに、プリントする範囲の大きさと位置の調整画面が切り替わります。

❹ **[MENU/OK]** を押す

❺ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

- 「はい」を選択すると、続けて補正/加工することができます。

◆ **顔キレイナビ（顔検出機能）で撮影した画像について**

富士フイルム製カメラの「顔キレイナビ（顔検出機能）」を使って撮影した画像は、ピントを合わせた顔付近を拡大表示し、主被写体を簡単に切り抜くことができます。

■ 明るさ/彩度補正

画像をお好みの明るさや鮮やかさに色合いを補正することができます。
56ページ手順4のあと

❶ 画像を見ながら **[◀ ▶]** で明るさまたは彩度を調整する

明るさ補正： 画像の明るさを調整します。
彩度補正： 色の鮮やかさを補正します。

❷ **[MENU/OK]** を押す

❸ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

- 「はい」を選択すると、続けて補正/加工することができます。

■ 白黒/セピア

画像を白黒やセピア色（茶色がかった色調）に変換することができます。
56ページ手順4のあと

❶ **[▶]** で「白黒」または「セピア」を選択する

● **[▶]** を押すたびに、画面が「白黒」、「セピア」、「元画像」の順に切り替わります。

❷ **[MENU/OK]** を押す

❸ **[◀ ▶]** で「いいえ」を選択し、**[MENU/OK]** を押す

●「はい」を選択すると、続けて補正/加工することができます。

■ 補正/加工解除

設定した補正や加工を解除することができます。
56ページ手順4のあと

❶ **[MENU/OK]** を押す

● 設定した補正や加工がすべて解除されます。

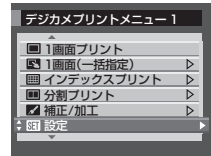
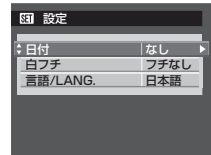
設定メニューについて

プリント時の日付や白フチを設定することができます。また、画面に表示される言語を変更することができます。

[MENU/OK]を押す

2

[▲ ▼]で「設定」を選択し、[▶]を押す

3

[▲ ▼]で設定項目を選択し、[▶]を押す

[▲ ▼ ◀ ▶]で各項目を設定する

設定項目について（→下記）

[MENU/OK]を押す

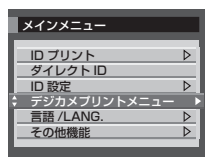
設定項目について

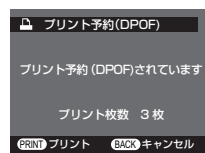
設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です。）
日付	プリントされる日付の形式を選択します。メモリーカードからのプリントすべてに反映されます。 ● <u>なし</u>　● 年.月.日　● 日.月.年　● 月/日/年
白フチ	1枚の用紙に1画像印刷するときの白フチの有無を選択します。 ● <u>フチなし</u>　● フチあり
言語/LANG.	画面に表示される言語を選びます。 ● ENGLISH　● FRANCAIS　● DEUTSCH ● ESPANOL　● 簡体中文　● <u>日本語</u>

カメラで指定してプリントする（DPOF）

1 ご使用のカメラを使って、プリントする画像を選択し、プリント枚数などを設定する

2 電源を入れる →p. 21

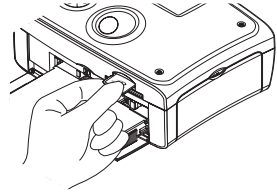
3 [▲ ▼] で「デジカメプリントメニュー」を選択し、[▶] を押す

4 メモリーカードをカードスロットに入れる →p. 48

5 [PRINT] を押す

6 プリントが始まります

- 用紙が 4 回前後に往復し、用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が排出されると、プリント完了です。

- 日付をプリントするときは、ご使用のカメラで設定してください。本機の日付設定は使用できません。
- DPOF 機能の有無および設定方法は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

メモリーカードを取り出す

1 プリント終了後、スロットから出ている部分をつまんで、メモリーカードを引き抜く

● 電源ボタンが点滅しているときは、メモリーカードを取り出したり、プリンターの電源を切ったりしないでください。

パソコンからプリント

パソコンに必要なシステムについて

プリンタードライバは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてください。

Windows

機種	USBインターフェースを標準装備するIBM PC/AT互換機（DOS/V機）
OS	Windows® Vista, XP Home/Pro., 2000 SP4
ドライブ	CD-ROM読み込み可能ドライブ
CPU	Pentium 800MHz以上
RAM	512MB以上
ハードディスク空き容量	500MB以上

Macintosh

機種	USBインターフェースを標準装備するMacintosh
OS	Mac OS X (v10.3～v10.4)
ドライブ	CD-ROM読み込み可能ドライブ
CPU	PowerPC G3/G4/G5
RAM	512MB以上
ハードディスク空き容量	500MB以上

– ソフトウェアをインストールするにはCD-ROMドライブが必要です。
– パソコンからプリントするには市販のUSBケーブルが必要です。
– 必要なシステム構成を満たしたすべてのパソコンの動作を保証するものではありません。

プリンタードライバのインストール

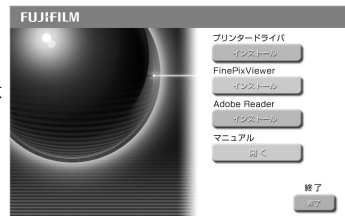
CD-ROMには、本機をパソコンに接続してプリントするときに必要なプリンタードライバが収められています。以下の手順にしたがってインストールしてください。

Windows

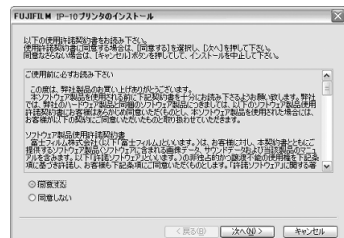
- **必ず、プリンタードライバをインストールしたあとで、パソコンと本機を接続してください。（インストール中に接続するようにというメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがってください。）**
  プリンタードライバインストール前にプリンターを接続してしまった場合には、プリンタードライバをアンインストールして、最初からやりなおしてください。（70ページの「プリンタードライバをアンインストールする」をご覧ください。）
- **Administrator（パソコンの管理者）の権限を持つユーザー名でログオンしてからインストールを行ってください。**

他のソフトウェアを使用しているときは、すべて終了する

CD-ROMをドライブにセットする

- ポップアップ画面が自動的に表示されます。
  自動的に表示されない場合は、次の操作で表示します。
  - Windows XP/Vistaの場合は、［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択して開き、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
  - Windows 2000の場合は、デスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリックして開き、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

プリンタードライバ の「インストール」をクリックする

- インストーラー画面が表示されます。

「同意する」を選び、「次へ」をクリックする

5 「次へ」をクリックする

6 「FUJIFILM IP-10」を選び、「次へ」をクリックする

7 表示されるプリンターのインストール情報が「プリンタモデル名：FUJIFILM IP-10」であることを確認し、正しければ、「完了」をクリックする

8 プリンターの電源を入れ、プリンターとパソコンを接続する →p. 68

- 電源ボタンの周りが青色に変わってから、次の手順に進んでください。

9 「完了」をクリックする

- インストールが完了します。

- 本機のプリンタードライバはICC（International Color Consortium）プロファイルに対応しておりません。
- 途中でインストールをやめた場合は、再度始めから作業を行ってください。

Macintosh

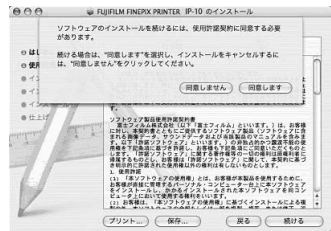
- 必ず、プリンタードライバをインストールしたあとで、パソコンと本機を接続してください。（インストール中に接続するようにというメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがってください。）
  プリンタードライバインストール前にプリンターを接続してしまった場合には、プリンタードライバをアンインストールして、最初からやりなおしてください。（70ページの「プリンタードライバをアンインストールする」をご覧ください。）
- 管理者の権限を持つユーザー名でログオンしてからインストールを行ってください。
  また、パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力してください。

1 他のソフトウェアを使用しているときは、すべて終了する

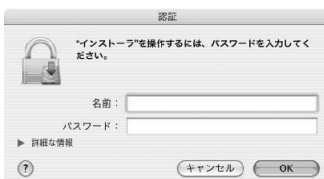
2 CD-ROMをドライブにセットする

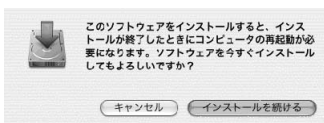
3 CD-ROM内の「FUJIFILM FinePix Printer.pkg」を
ダブルクリックする

4 「続ける」をクリックする

5 「続ける」をクリックし、「同意します」
をクリックする

6 ドライバのインストール先を選び、「続ける」をクリックする

7 「インストール」をクリックする（Mac OS X 10.3をお使いの場合は、「アップグレード」をクリックする）

8 インストールするMac OS Xの管理者権限を持つユーザーの「名前」と「パスワード」を入力して「OK」をクリックする

9 「インストールを続ける」をクリックする（Mac OS X 10.3をお使いの場合のみ）

- ソフトウェアのインストールが始まります。

10 「再起動」をクリックする

- インストールが完了します。

【プリンターを追加する】

1 パソコンをいったん終了する

2 プリンターとパソコンを接続する →p. 68

3 パソコンの電源を入れて起動し、Mac OS Xにログインする

4 Dock内の「システム環境設定」をクリックする

5 「プリントとファクス」をクリックする

6 プリンターの電源を入れる

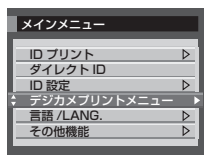
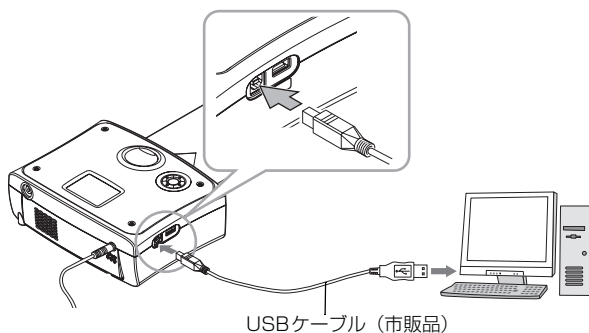
- Mac OS Xがプリンターを認識して、プリンタリストにプリンターが追加されます。

- 本機のプリンタードライバはICC（International Color Consortium）プロファイルに対応しておりません。
- 途中でインストールをやめた場合は、再度始めから作業を行ってください。

プリンターをパソコンに接続する

- USBケーブル（A-Bタイプ／市販品）で接続します。
- 用紙とインクカートリッジをセットしておきます。→p. 18～20
- プリンターにカメラがUSB接続されていないことを確認してから、接続してください。

1 電源を入れる →p. 21

2 [▲ ▼]で「デジカメプリントメニュー」を選択し、[▶]を押す

3 USBケーブル（市販品）を使って、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する

- 本機の電源ボタンの周りが速い青点滅を繰り返します。
- USBケーブルの接続部分とプリンター、パソコンの端子形状、向きを確認してから接続してください。パソコンのUSBポートの位置、向きはお使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。

4 電源ボタンの周りが青色に点灯していることを確認する

- USBケーブルで、本機とパソコンを直接、接続してください。（USBキーボードのUSBポートには接続しないでください。）
- 他のUSB機器（USBマウス、USBキーボードを除く）と同時に使用すると、正しく動作しないことがあります。

パソコンからプリントする

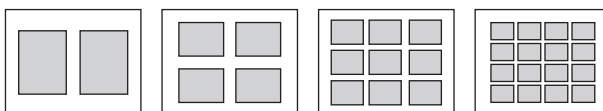
1 ご使用のアプリケーションで、プリントしたい画像を表示・選択する

2 印刷画面を表示し、使用するプリンターに「FUJIFILM FinePix Printer」(「FinePix Printer」(Mac OS))を選択する

- 印刷およびプリンターの選択方法は、アプリケーションによって異なります。ご使用のアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

3 印刷設定をする画面を表示する

4 「レイアウト」、「レイアウトの指定」、「印刷部数」を設定する

- 分割指定を行うと、同じ画像が指定した分割数でプリントされます。
- 「フチなし」にすると、分割指定はできません。
- 分割指定は以下から選択できます。

2分割

4分割

9分割

16分割

5 画像の明るさなどを変更したい場合は「画像処理設定」をクリックし、をドラッグして設定する

明るさ	明るさを調整します。
コントラスト	強いと画像全体としてはくっきりとした印象になり、逆に弱いと、中間調が増え、深みのない画像になります。
彩度	増やすとくすんだ写真が鮮やかになります。
赤、緑、青	各色の色合いを調整します。

6 「プリント」をクリックする

- プリント中にステータスモニターが表示され、ドキュメント名やプリント状態などの情報が表示されます。

- エラーメッセージが表示された場合は、「接続機器でのエラー表示」の内容をご覧ください。→p. 81
- 画像の大きさによっては、画像の一部が切り取られたり、余白が入ったりします。また設定によって、用紙に合わせて画像が自動で回転します。→p. 40

プリンタードライバをアンインストールする

Windows

1 CD-ROMをドライブにセットする

2 プリンタードライバ の「アンインストール」をクリックする

- アンインストールが開始します。

3 表示されるメッセージにしたがってアンインストールを進める

Macintosh

1 「アプリケーション」▶「ユーティリティ」フォルダの「プリンタ設定ユーティリティ」アイコンをダブルクリックする

2 「FinePix Printer」を選択し、「削除」をクリックする

FinePixViewerについて

FinePixViewerでできること

FinePixViewerは、デジタルカメラで記録した静止画/動画/音声ファイルをパソコンに保存し、整理、加工、印刷などを行うためのソフトウェアです。ここでは簡単にその機能をご紹介します。

- ファイルを閲覧・整理する - 静止画/動画/音声などの各ファイルを、サムネイル表示でわかりやすく確認できます。
- 画像ファイルを加工する - 画像の自動画質調整、回転など、画像処理機能を利用できます。
- スライドショーを行う - BGM を付けて撮影日などを字幕のように表示しながらスライドショーを再生できます。
- 画像を印刷する - 印刷する画像を選択し、レイアウトのプレビューを見ながら、画像の印刷が簡単に行えます。
- Eメールに画像を添付する - メール送信に適した画像サイズに変換してEメールへ画像を添付できます。
- 他にも充実した機能がいろいろ - インターネット接続環境では、ネットプリント注文を行ったり（Windowsのみ）、サポート情報の取得など、たいへん便利な画像ネットサービスPictureTheFutureを利用できます（一部有料）。

- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。
- FinePixViewerでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。

Windowsにインストールする

この章では、Windowsパソコンでのインストール方法・設定を説明しています。

1 インストール前にお確かめください

■ 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うか、インストールを始める前にお確かめください。

OS*1	Windows 2000 Professional 日本語版*2 Windows XP Home Edition 日本語版*2 Windows XP Professional 日本語版*2 Windows Vista 日本語版*2
CPU*3	Pentium 200MHz以上 （Windows XP/Vistaの場合は、Pentium4 800MHz以上）
メモリ	128MB以上（Windows Vistaの場合は512MB以上）
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量.................. 450MB以上 動作に必要な容量 800MB以上
ディスプレイ	1024×768ドット以上、16ビットカラー以上
インターネット接続*4	● 画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ● 通信速度　56kbps以上推奨
外部接続端子	本体標準のUSBポート

*1 上記のOSがプリインストールされたモデル。
*2 インストールするときには、コンピュータの管理者アカウント（例えば、“Administrator”）でログインしてください。
*3 パソコンで動画を再生する場合はパソコンの性能によっては滑らかに再生されない場合があります。
*4 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

■ 推奨環境

OS	Windows XP
CPU	Pentium4 2GHz以上
メモリ	512MB以上
ハードディスク空き容量	2GB以上
ディスプレイ	1024×768ドット以上　フルカラー
インターネット接続	通信速度　ブロードバンド（ADSL、FTTH、CATVなど）

- Windows 95、Windows NT、Windows 98、Windows Meでは使用できません。
- 自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。
- FinePixViewerを再インストールまたは削除すると、画像ネットサービスのユーザーID・パスワード・インターネットメニューがパソコンから消去されます。登録済みのユーザーID・パスワードを入力して、メニューを再ダウンロードしてください。

2 CD-ROMをパソコンにセットする

❶ パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。
既に電源を入れて作業をしていた場合は、再起動してください。

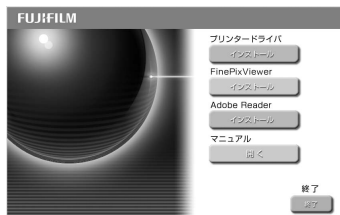
❷ タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションを終了させてください。

<タスクバー>

終了すべきアプリケーション（表示は実行されているアプリケーションによって異なります）

① タスクバー上のアプリケーションの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。
② 開いたメニューの「閉じる」をクリックします。
詳しくは、パソコンの使用説明書、アプリケーションの使用説明書をご参照ください。

❸ CD-ROM をドライブにセットします。

- ポップアップ画面が自動的に表示されます。自動的に表示されない場合は、次の操作で表示します。
  - Windows XP/Vistaの場合は、［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択して開き、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
  - Windows 2000の場合は、デスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリックして開き、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ FinePixViewer の「インストール」をクリックします。
インストーラー画面が表示されます。

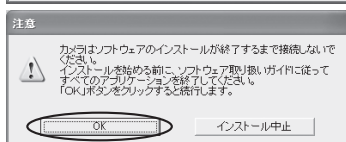
● **Windows Vistaをお使いの方へ**
同梱のCD-ROMをパソコンにセットしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、「PrtSetup.EXE」の実行をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

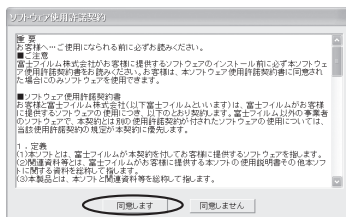
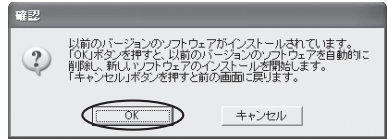
3 FinePixViewerをインストールする

❶ セットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewer のインストール」をクリックしてください。

● インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

❷ インストール前のチェックが開始されます。「注意」画面が表示された場合は、その指示にしたがってください。

❸ インストールの続行を確認する画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

❹ 「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、
同意される場合
→「同意します」ボタン
同意しない場合
→「同意しません」ボタン
をクリックしてください。

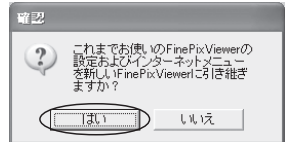
「同意しません」ボタンをクリックすると、インストールされません。

❺ ソフトウェアのバージョンチェックが行われます。
右の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、以前のバージョンのソフトウェアをアンインストールしてください。

❻「国 / 地域の選択」画面が表示されます。お住まいの地域を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

❼ USB ドライバをインストールします（Windows 2000 Professional をお使いの場合のみ）。

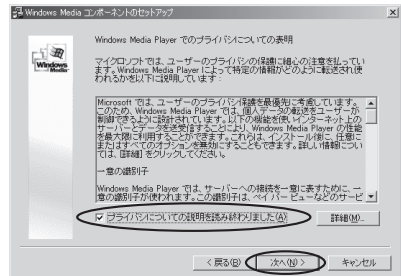
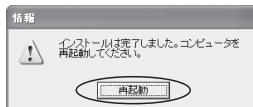
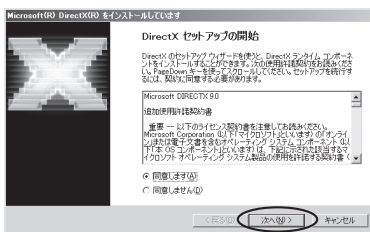
❽ FinePixViewer をインストールします。

① 右の画面が表示される場合があります。設定を引き継ぐときは「はい」ボタンをクリックしてください。

② FinePixViewer のインストールが始まり、注意・警告画面が表示されます。確認したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

③ インストール先のフォルダを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

❾ 画面の指示にしたがって、Windows Media Player をインストールし、再起動します。

① この画面では、「プライバシについての説明を読み終わりました」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

② 「完了」ボタンをクリックすると、パソコンが再起動します。

● 既に最新版がインストールされている場合は、このインストールは行われません。次の手順へ進んでください。

❿ 画面の指示にしたがって、DirectXをインストールし、再起動します。

● 既に最新のバージョンがインストールされている場合、この画面は表示されません。

⓫ 再起動後、「インストールが完了しました」という画面が表示されます。

これでインストールはすべて終了しました。

CD-ROMは再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

Mac OS Xにインストールする

この章では、Mac OS Xでのインストール方法・設定を説明しています。

インストール前にお確かめください

■ 動作環境

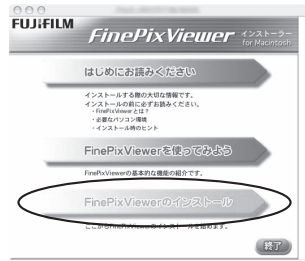
本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うか、インストールを始める前にお確かめください。

対応機種*1	Power Mac G3*2、PowerBook G3*2、Power Mac G4、iMac、iBook、Power Mac G4 Cube、PowerBook G4、Power Mac G5、MacBook、MacBook Pro、Mac mini
OS	Mac OS X*3 （バージョン10.3.9～10.4.8対応　2006年11月現在*4）
メモリ	256MB以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量.................. 200MB以上 動作に必要な容量 400MB以上
ディスプレイ	800×600ドット以上、約32,000色以上
インターネット接続*5	● 画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ● 通信速度　56kbps以上推奨

*1　PowerPC、Intel Processor 搭載機
*2　USBポートが標準装備されている機種
*3　インストールするときには、コンピュータの管理者アカウントでログインしてください。
*4　対応OSについては下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/
*5　画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

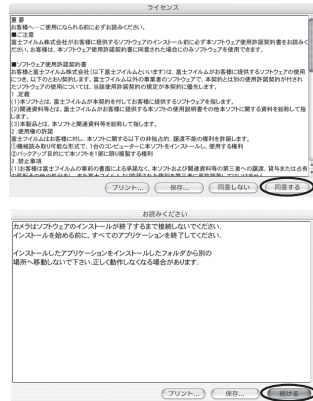
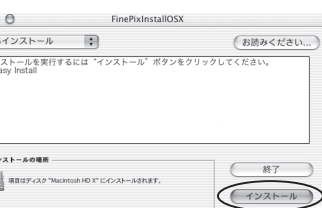
2 FinePixViewerをインストールする

❶ Macintoshの電源を入れて、Mac OS Xを起動します。他のアプリケーションは起動しないでください。
❷ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」アイコンが表示されます。「FinePix」アイコンをダブルクリックすると、「FinePix」ボリュームが開きます。
❸ 「Installer for MacOSX」をダブルクリックして起動します。

❹ インストーラーのセットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewer のインストール」をクリックしてください。

● インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

❺ 「認証」画面が表示されます。管理者のアカウントの名前とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

● 管理者のアカウントはMac OS Xをインストールしたアカウント、もしくはシステム環境設定のアカウントを開いたとき、タイプが管理者となっているアカウントです。

❻ 「ライセンス」画面が表示されます。
内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意する」ボタンをクリックしてください。
「同意しない」ボタンをクリックすると、インストールはされません。

❼ 「お読みください」画面が表示されます。
「続ける」ボタンをクリックします。

❽ 「 FinePixInstallOSX」画面が表示されます。
「インストール」ボタンをクリックすると、FinePixViewer がインストールされます。

❾「FinePixViewer のインストールが完了しました。」という画面が表示されます。

● Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock内にあるSafariのアイコンをクリックして起動し、「Safari」－「Safariを終了」メニューを選択して終了させてください。

これでインストールはすべて終了しました。

CD-ROMは再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

ソフトウェアを削除する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみ行ってください。

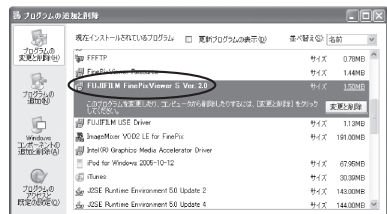
Windows

❶ すべてのアプリケーションを終了します。

❷「マイコンピュータ」（Windows XP/Vista をお使いの場合は、「スタート」メニュー→「コントロールパネル」）を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」（Windows XP をお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」、Windows Vista をお使いの場合は、「プログラム（プログラムのアンインストール）」）をダブルクリックします。

❸「アプリケーションの追加と削除」のプロパティ（Windows XP をお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」のプロパティ）が表示されますので、削除したいソフトウェア（FinePixViewer S またはドライバ）を選択して、「変更と削除」（Windows Vista をお使いの場合は、「アンインストールと変更」）ボタンをクリックします。

❹ 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。

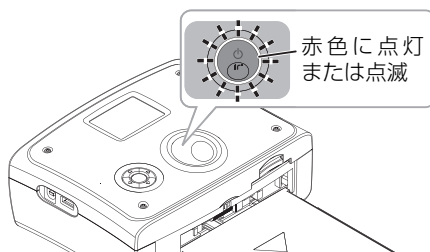
❺ 自動的にアンインストール作業が開始されます。
アンインストール作業が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

Mac OS X

FinePixViewer を終了したあと、インストールした FinePixViewer のフォルダを「ゴミ箱」に入れ、「Finder」メニューの「ゴミ箱を空にする…」を選択してください。

付録

エラーについて

電源ボタンのエラー表示

プリントできないなどのエラーが起こった場合、電源ボタンの周りが赤色に点灯または点滅します。点灯または点滅の仕方によってエラーの内容がわかります。

点灯・点滅の例	エラー内容・対応	ページ
赤点灯	● 同時に複数の機器が接続されています。以下のような組み合わせで同時に接続しないでください。 － カメラとメモリーカード － カメラとパソコン － カメラとメモリーカードとパソコン － メモリーカードが2枚	－
	● 対応していない USB 機器が接続されています。USB機器を外してください。	－
低速で赤点滅	● 用紙が切れています。ペーパートレイに用紙を入れてください。	20
	● インクリボン切れです。新しいインクカートリッジを入れてください。	18
	● インクカートリッジが入っていません。インクカートリッジを、「カチッ」と音がするまで挿入してください。	18
	● 用紙が異なっています。指定の用紙をペーパートレイに入れてください。	15
	● インクカートリッジを取り出し確認してください。インクリボンにたるみがある場合は、たるみをとってから入れなおしてください。	18、19
高速で赤点滅	● プリンター内部に用紙が詰まっています。電源を入れなおすと排紙されます。	86
青赤交互に点滅	● 電源を入れなおしてください。	－

接続機器でのエラー表示

◆ カメラと接続している場合

カメラと接続しているときに、プリントできないなどのエラーが起こった場合、カメラのLCDモニターにエラーの内容が表示されます。

- エラー表示はお使いのカメラによって異なります。カメラによってはエラー表示が出ない場合があります。

◆ パソコンと接続している場合

パソコンと接続しているときに、プリントできないなどのエラーが起こった場合、パソコンのモニターにエラーの内容が表示されます。

カメラやパソコンのモニター表示例	エラー内容・対応	ページ
用紙なし	● 用紙が切れています。ペーパートレイに用紙を入れてください。	20
用紙・リボン違い	● 用紙とリボンの種類が異なります。用紙とインクカートリッジが指定のものか、確認してください。	15
リボン切れ	● インクリボン切れです。新しいインクカートリッジを入れてください。	18
印刷データと装着用紙が不一致	● 印刷データと、ペーパートレイまたはインクカートリッジが一致していません。印刷データに一致するトレイ・カートリッジをご使用ください。	15
リボンカートリッジなし	● インクカートリッジが入っていません。インクカートリッジを、「カチッ」と音がするまで挿入してください。	18
用紙カートリッジなし	● ペーパートレイが入っていません。ペーパートレイをゆるみがないように、しっかりと装着してください。	20
用紙詰まり	● プリンター内部に用紙が詰まっています。電源を入れなおすと排紙されます。	86
ペーパートレイと用紙が異なる	● 用紙が異なっています。指定の用紙をペーパートレイに入れてください。	15
マーカー検出エラー	● インクカートリッジを取り出し確認してください。インクリボンにたるみがある場合は、たるみをとってから入れなおしてください。	18、19
その他用紙エラー	● 用紙がくっつくなどして、用紙が 2 枚以上送られています。電源を入れなおすと排紙されます。 ● 用紙が詰まっています。電源を入れなおすと排紙されます。	86
ファイルエラー	● DPOF 情報の取得に失敗しました。DPOF 設定が正しいかご確認ください。 ● 本機が対応していない画像をプリントしようとしています。	—

故障かな？と思ったときは

こんなときは、ここをお調べください

おかしいなと思ったときは、修理を依頼される前に以下の項目をお調べください。

◆ プリンター全般

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
プリンターの電源が入らない	● 電源プラグや AC アダプターが正しく接続されていません。	21
プリントできない	● インクリボンがたるんでいます。	18
	● 用紙が入っていません。	20
	● 指定の用紙が入っていません。	15
	● インクが切れています。	18、19
	● 本機非対応の形式の画像をプリントしようとしています。本機でプリントできるのは、Exif-JPEG形式の画像だけです。	—
	● 結露（つゆつき）が起こっています。しばらくお待ちください。（1～2時間）	15
プリントに時間がかかる	● 高解像度の画像をプリントしようとしています。高解像度の画像は読み込みに時間がかかります。	—
	● プリンター内部が高温になっています。しばらくお待ちください。（プリントが再開します。）	—
きれいにプリントできない	● 指定の用紙を使っていません。	15
	● 用紙が正しく入っていません。	20
	● 用紙の裏表が逆です。	20
	● インクリボンや用紙が汚れています。汚れていないものを入れてください。	18-20
	● プリンター内部にほこりなどが付着しています。付属のクリーナーで取り除いてください。	86
プリント画像が乱れている	● テレビやゲーム機など、電磁波を出している機器の近くでプリントしています。このような機器からは離してプリントしてください。	—
	● スピーカーや大型モニターなど、強い磁気を出している機器の近くでプリントしています。このような機器からは離してプリントしてください。	—

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
用紙がよく詰まる	● ペーパートレイに用紙を21枚以上入れています。ペーパートレイに入れられるのは20枚までです。	20
	● 用紙が折れ曲がったり、反ったりしています。折れ曲がっていない、まっすぐな用紙を使用してください。	—
	● プリント後の用紙を用紙受け部（ペーパートレイの上）にためすぎています。プリント後の用紙は、こまめに取り除いてください。	—
画像の上下が切れてプリントされない	● 画像の大きさによっては、画像全体をプリントできない場合があります。	40
記載されている枚数分印刷できない	● インクリボンを引っ張りすぎると、所定の枚数をプリントできなくなります。	—
	● 用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離すと、プリントできなくなります。	14

◆ 証明写真をプリントする場合

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
テレビに画面が表示されない	● テレビの電源が入っていることを確認してください。	—
	● プリンターの映像出力端子とテレビの映像入力端子がビデオケーブルで接続されていることを確認してください。	25
	● テレビの入力を切り換えて、ビデオ入力にしてください。	39
テレビの画像が乱れる	● 大型モニター、スピーカー、ゲーム機などの電磁波および磁気を出している機器の近くにあります。このような機器からは離してください。	—
プリントできない	● 撮影された画像の縦横比が1:3以上です。 このような画像はIDプリントできません。	22
	● カメラがダイレクトIDプリント機能対応のものか確認してください。	32
	● メモリーカードが正しく挿入されていません。	22
	● 本機に対応しているメモリーカードからプリントしてください。 ※ ダイレクトIDプリントではxD-Picture Cardしか使用できません。	22、32
	● 本機非対応の形式の画像をプリントしようとしています。本機でプリントできるのは、Exif-JPEG形式の画像だけです。	—

◆ 赤外線通信でワイヤレスプリントする場合

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
赤外線送信したが、プリンターと通信しない（電源ボタンが速い青点滅を始めない）	● お使いの機器が赤外線通信（IrDA）に対応していることをご確認ください。	―
	● お使いの機器の赤外線ポート位置をご確認ください。	45
	● 正しい画像送受信範囲をご確認の上、再度送信してください。	43
	● 本機の電源を一度OFFにして、再度電源を入れなおしてください。	21
通信途中で電源ボタンが青点滅から赤点灯に変わり、用紙が出てこない	● 正しい画像送受信範囲をご確認の上、再度送信してください。	43
	● 他の赤外線通信機器の影響を受けない場所で操作してください。	―
	● お使いの機器が赤外線通信（IrDA）に対応していることをご確認ください。	―
通信途中で電源ボタンが赤く3回点滅し、受信に失敗した	● 画像の通信が終わるまで、送信側の赤外線ポートを本機の赤外線ポートに向けたままにして動かさないでください。	43
	● 本機非対応の形式の画像をプリントしようとしています。本機でプリントできるのは、Exif-JPEG形式の画像だけです。	―

◆ カメラからプリントする場合

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
プリントできない	● 本機とカメラが正しく接続されていません。（カメラ用のUSBケーブルをご使用ください。）	46
	● お使いのカメラがPictBridge非対応です。	46
	● ご使用のカメラにより、接続する前に"PictBridge"でプリントするモードに切り替える必要があります。	46
	● プリントするには、カメラ側からのプリント操作が必要です。お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。	47
	● 本機にパソコンが接続されています。パソコンが接続されていると、カメラからプリントできません。パソコンの接続を外してください。	―
プリントを途中でやめたい	● カメラ側からプリント中断を選択した場合でも、現在印刷中のプリントは最後まで印刷されます。それ以降のプリントはキャンセルされます。	―
何枚もプリントされた	● カメラ側でDPOF指定画像のプリントの操作を行うと、指定画像がすべてプリントされます。	―
	● カメラ側で指定した枚数分プリントされます。	―

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
日付がプリントされない	● カメラ側で日付プリント機能が有効になっていると、日付がプリントされます。	47

◆ メモリーカードからプリントする場合

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
プリントできない	● 本機にカメラが接続されています。カメラが接続されていると、メモリーカードからプリントできません。カメラの接続を外してください。	―
	● メモリーカードが正しく挿入されていません。	40
	● 本機非対応のメモリーカードからはプリントできません。	40
	● メモリーカードの画像が本機非対応の画像形式です。本機でプリントできるのは、Exif-JPEG形式の画像だけです。	―
	● メモリーカードに画像が入っていません。	―
インデックスプリント時にプリントされない画像がある	● 本機非対応の画像はプリントされません。	―

◆ パソコンからプリントする場合

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因・対応）	ページ
プリントできない	● 本機とパソコンが正しく接続されていません。（パソコン接続用のUSBケーブルをご使用ください。）	68
	● プリンタードライバがインストールされていません。付属のCD-ROMに入っているプリンタードライバをインストールしてから、本機とパソコンを接続してください。	63、65
	● パソコンで別のプリンターを指定してプリントしています。本機を使用するプリンターに選んでからプリントしてください。	―
	● 指定の用紙を入れてください。	15
	● 本機にカメラとパソコンの両方が接続されています。カメラが接続されていると、パソコンからプリントできません。カメラの接続を外してください。	―
プリントを途中でやめたい	● パソコン画面で「印刷中断」を選択した場合でも、現在印刷中のプリントは最後まで印刷されます。それ以降のプリントはキャンセルされます。	―

用紙が詰まったら

用紙が詰まったら、以下の手順で取り出してください。

1 電源ボタンを押す

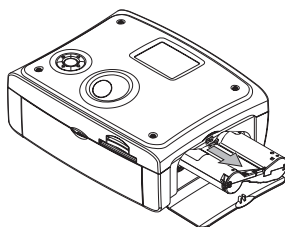
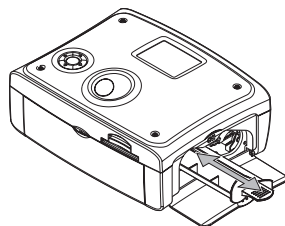
- 電源が切れます。

2 約10秒後、電源ボタンを押す

- 用紙が自動的に排出されます。
- 故障の原因になりますので、用紙を手で無理に引き出さないでください。

クリーナーを使う

プリンター内部にちりやほこりなどが付着していると、画像に細い線や点がプリントされることがあります。以下の手順で取り除いてください。

1 取り出しレバーを上に押し、インクカートリッジを取り出す →p. 19

2 付属のクリーナーを図のように差し込み、1、2回出し入れする

仕様

主な仕様

◆ プリンター本体

電源：	DC24 V ⎓、1.8 A
消費電力：	約60 W
動作保証範囲：	5～35 ℃/20～80 %
性能保証範囲：	10～30 ℃/20～80 %
外形寸法：	182.3（幅）×74.7（高さ）×147.3（奥行）mm（突起部含まず）
質量：	約1 kg（インクカートリッジ、ペーパートレイ含まず）
印刷方式：	昇華型熱転写方式
最大解像度：	300×300 dpi
諧調数：	256階調/色
画像形式：	DCF準拠/Exif Ver.1.0～2.2/JPEG 4:4:4、4:2:2、4:2:0/ DPOF対応
画像サイズ：	最大6400×6400 Pix　最小128×96 Pix
用紙：	100×150 mm（100×180 mm カット前）
インク：	専用インクカートリッジ 3色順次記録（イエロー、マゼンダ、シアン+オーバーコート）
印刷領域：	100×150 mm（フチなし） 92×138 mm（フチあり）
印刷速度：	100×150 mm：約70秒
印刷モード：	全画面印刷（フチあり、フチなし）、分割印刷
信号転送方式：	PictBridge（カメラ使用時）
接続方式：	USB（full speed）
赤外線通信：	IrDA、IrSimple/SIR双方向/片方向通信モード、 IrSimple/FIR双方向/片方向通信モード
対応メディア：	xD-Picture Card™（TypeM、TypeH対応）、 SDメモリーカード™（SDHC対応）、マルチメディアカード™、 メモリースティック™（メモリースティックPRO™含む）、 コンパクトフラッシュ®カード
テレビ出力：	ピンジャック
ビデオ出力：	NTSC/PAL
液晶モニター：	2.36型 TFT　11万画素
保証プリント枚数：	累計3000枚

◆ ACアダプター（AC-24V）

定格入力：	AC100-240 V ～、50/60 Hz
定格出力：	DC24 V ⎓、1.8 A
消費電力：	120-144 VA
動作温度範囲：	5～35 ℃
動作湿度範囲：	20～80 %
外形寸法：	120（幅）×30（高さ）×58（奥行）mm
質量：	約300 g

ソフトウェア製品使用許諾契約書

ご使用前に必ずお読み下さい

この度は、弊社製品のお買い上げありがとうございます。
　本ソフトウェア製品を使用される前に下記契約書を十分にお読み下さるようお願い致します。弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、以下のソフトウェア製品使用許諾契約書にお客様はあらかじめ同意いただくものとし、本ソフトウェア製品を使用された場合には、お客様が以下の契約にご同意いただいたものと取り扱わせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

ソフトウェア製品使用許諾契約書
　富士フイルム株式会社（以下「富士フイルム」といいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（ソフトウェアに含まれる画像データ、サウンドデータおよび当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の非独占的かつ譲渡不能の使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」に関する著作権等の一切の権利は原権利者に帰属するものとし、お客様は「許諾ソフトウェア」に関して、本契約に基づき明示的に許諾された使用権以外の権利は有しないものとします。

1．使用許諾
(1) 「本ソフトウェアの使用権」とは、お客様が本製品を使用するために、お客様が直接に管理するパーソナル・コンピューター台上に本ソフトウェアをインストールし、かかるインストールされた本ソフトウェアを同コンピュータ上において使用する権利をいいます。
(2) お客様は、「本ソフトウェアの使用権」に基づくインストールによる複製の外、本ソフトウェアの全部もしくは一部を複製、複写、または修正、追加等の改変を行ってはなりません。
(3) お客様は、再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により、第三者に「許諾ソフトウェア」を使用または利用させてはなりません。
(4) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部もしくは一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等は行ってはなりません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2．保証
(1) 富士フイルムは、お客様が「許諾ソフトウェア」を購入した日から90日の間、「許諾ソフトウェア」が格納されているディスク（以下「ディスク」といいます。）に物理的な欠陥がないことを保証します。当該保証期間中に「ディスク」に物理的な欠陥が発見された場合には、富士フイルムは、「ディスク」を交換いたします。
(2) 前項に定める場合を除き、富士フイルム、富士フイルムの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の完全性、有用性、合目的性について一切責任を負わないものとし、かつお客様およびその他第三者に対して「許諾ソフトウェア」に瑕疵がないこと、その他ソフトウェア製品に関して明示・黙示を問わずいかなる保証もいたしません。

3．責任の制限
富士フイルム、富士フイルムの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の使用、使用不能に付随または関連して生じた直接的な損失、間接的な損失、損害、逸失利益等について、いかなる場合においても一切の責任を負わないものとし、また「許諾ソフト

ウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

4. 輸出
お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ずに、「許諾ソフトウェア」の全部もしくは一部を、直接または間接に日本国外に輸出してはなりません。

5. 契約期間
(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用された時点で発効します。「許諾ソフトウェア」は、パーソナル・コンピュータの一時メモリ(RAM等)へのローディング、または、固定メモリ（ハードディスク、その他の記憶装置等）に組込まれた時に、当該パーソナル・コンピュータにおいて使用されたものとします。
(2) お客様は、富士フイルムに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
(3) 富士フイルムは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(4) 本契約は、上記(2) または(3) により終了するまで有効に存続します。上記(2) または(3) により本契約が終了した場合、富士フイルム、富士フイルムの子会社、それらの販売代理店および販売店は、本製品の代金をお返しいたしません。お客様は、本製品の代金の返還を富士フイルム、富士フイルムの子会社、それらの販売代理店および販売店に請求できません。
(5) 上記(4)の規定にかかわらず、第１条(2)、第１条(3)、第１条(4)、第２条、第３条および第６条の規定は、本契約の終了後も効力を有するものとします。
(6) お客様には、本契約の終了時に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去していただきます。

6. 一般条項
(1) 本契約の条項の一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
(2) 本契約は、日本国法に従って解釈されるものとします。
(3) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

日本でのアフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お買上げ店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証・使い方などのご不明な点につきましても、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。**（ →92ページ）**

● 無料修理

故障した製品については、お買上げ日・お買上げ店名の記入された保証書が添付されている場合には、保証期間内において、製品保証規定に記載されている内容の範囲内で無料修理させていただきます。＊詳しくは、保証書の製品保証規定をご覧ください。尚、故障の内容によっては新品に交換する場合があります。

● 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にお買上げ日、お買上げ店名が記入されていない場合、または記載事項が改ざんされた場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、プリンター内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
8. 故障の内容によっては新品に交換する場合があります。

● 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間

本製品の補修用部品は、製造打ち切り後５年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはお買上げ店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. お買上げ店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故になった際のプリントおよびインクカートリッジなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは 7,000 円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、お買上げ時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、富士フイルムサービスステーションでお預かりしてから通常 7 ～ 10 日位をご予定ください。

● 海外旅行中の故障

本製品の保証書は日本国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、持ち帰った後、国内の富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

日本での問い合わせ先

本製品のお問い合わせ先

富士フイルムFinePixサポートセンター
TEL 042-481-1673

固定の一般電話からはこちらもご利用いただけます。

ナビダイヤル 0570-00-1060
＊全国どこからでも市内通話料金でかけることができます。
＊携帯電話、PHSなどからはご利用いただけません。

月曜日～金曜日　午前9:00～午後5:40　土曜日　午前10:00～午後5:00
（日・祝日・年末年始を除く）

● **富士フイルム製品のお問い合わせ先**

お客様コミュニケーションセンター - - - - - TEL（03）5786-1711
（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）

修理のご相談窓口

富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル **0570-00-0081**
呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

／ PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

月曜日～金曜日 午前9：00～午後5：40　土曜日 午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070**
受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

修理品お持込窓口

全国6箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。

※ サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm.jp/ をご確認ください。
※ サービスステーションの住所、電話などは変更となることがあります。あらかじめ当社ホームページもしくは、富士フイルム修理サービスセンターにご確認の上、お持込ください。